



「第5期音更町総合計画・後期基本計画」にかかる

# 音更町まちづくりアンケート 概要版

平成26年10月

音更町

# も く じ

<b>I</b>	<b>各アンケートの概要</b> .....	<b>1</b>
<b>II</b>	<b>町民アンケートの結果</b> .....	<b>1</b>
1	暮らしの満足度・重要度 .....	1
2	住みよさ .....	7
3	定住意向 .....	8
4	産業の振興 .....	10
5	まちづくりへの関心や参加 .....	13
6	広報、情報提供 .....	16
7	移住・定住 .....	20
8	行政改革 .....	22
<b>III</b>	<b>小学生アンケートの結果</b> .....	<b>24</b>
②	今の音更町をどう思っていますか .....	24
③	音更町は住みやすいと思いますか .....	24
④	音更町の「良いところ」「悪いところ」 .....	25
⑤	音更町はどのようなまちになると良いと思いますか .....	25
<b>IV</b>	<b>中高生アンケートの結果</b> .....	<b>26</b>
1	生活の満足度 .....	26
2	住み良さ .....	27
3	定住意向 .....	28
3-1	町外に移りたい理由 .....	28
4	なってほしい音更町のこれからの姿 .....	29
5	特に力を注ぐべき取り組み .....	30
6	まちづくりや地域活動への関心 .....	31
7	身近な地域活動やボランティアへの参加意向 .....	31
8	参加したい（できる）活動 .....	32
9	音更町の「良いところ」と「悪いところ」 .....	32
<b>V</b>	<b>各調査結果からの考察</b> .....	<b>33</b>
1	分野ごとの満足度・重要度 .....	33
2	住み良さ .....	35
3	定住意向 .....	37
4	産業 .....	38
5	まちづくりへの関心や参加 .....	38
6	広報、情報提供 .....	40
7	移住・定住 .....	42
8	行政改革 .....	42

## I 各アンケートの概要

	町民アンケート [今回]	町民アンケート [前回]	小学生アンケート	中高生アンケート
対象	音更町に在住する 18歳以上の町民 3,000名（無作為 抽出）  （対象者が回答で きない場合は、ほ かのご家族の方 （18歳以上）が 回答）	音更町に住む 18 歳以上の住民 3,000名（無作為 抽出）	町内の小学校に通 っている6年生の 生徒	①町内の中学に通 っている2年生 の生徒  ②音更高校に通っ ている2年生の 生徒  ③町内に住む高校 2年生と同年齢 の方
配布・回収 方法	郵送にて 配布、回収	郵送にて 配布、回収	学校を通じて 配布、回収	①②学校を通じて 配布、回収  ③郵送にて配布、 回収
調査時期	平成26年6月	平成20年12月	平成26年7月	平成26年7月
回収数	1,078票 (回収率35.9%)	1,272票 (回収率42.4%)	324票 (回収率64.9%)	607票 (回収率54.0%)

## II 町民アンケートの結果

### 1 暮らしの満足度・重要度

【問1】音更町での暮らしについて、各分野の【現在の「満足度」】と、【今後の「重要度」】を、あてはまるもの（A～E）をそれぞれ1つずつ選んで、○印をつけてください。

#### <満足度>

○「満足」が最も高いのは「34. 日常の買い物環境」（25.3%）で、「16. ごみの収集・リサイクル」（18.0%）、「3. 病院・診療所などの医療環境」（15.1%）と続きます。

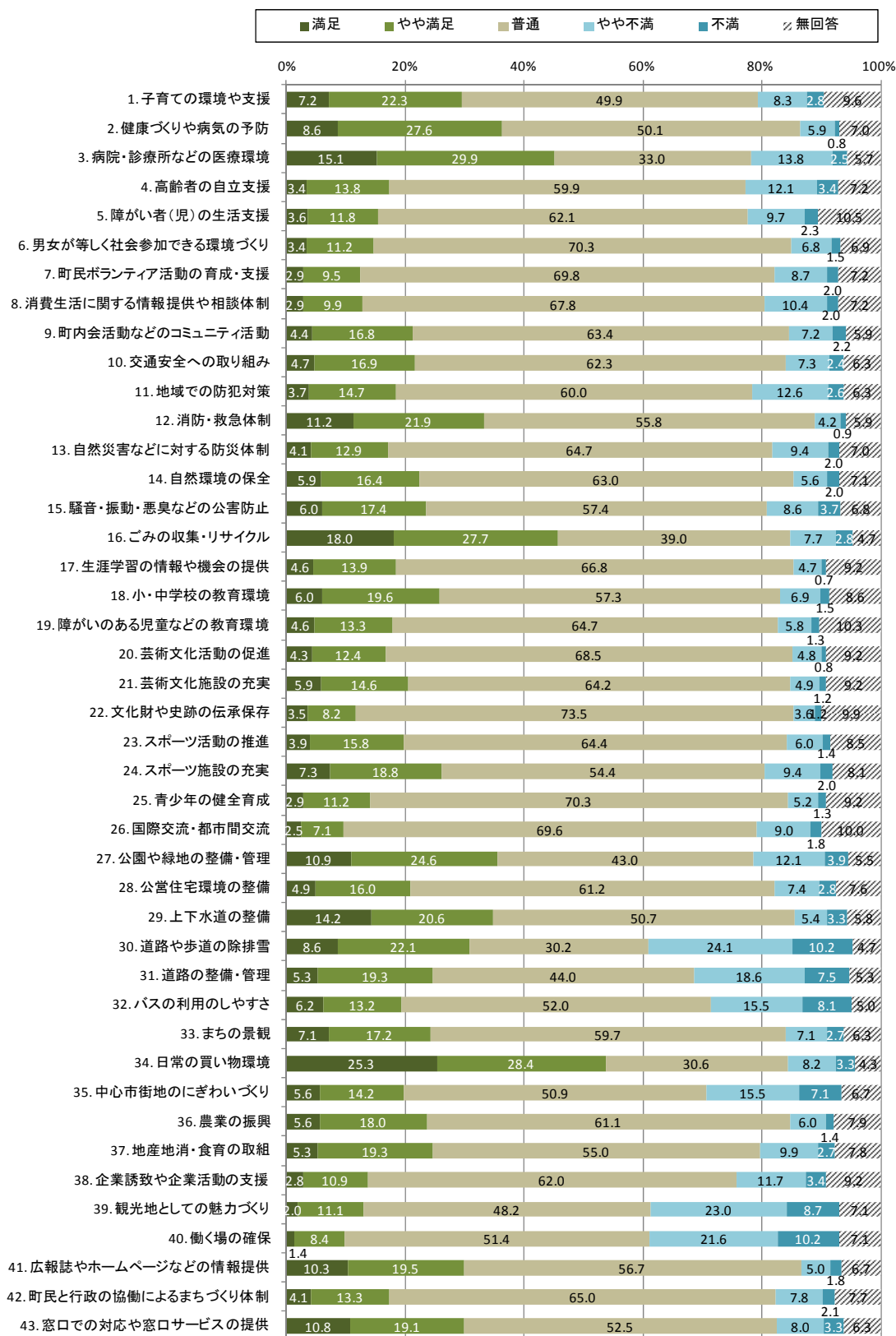
○「不満」が最も高いのは「30. 道路や歩道の除排雪」と「40. 働く場の確保」（同率で10.2%）で、1割をこえているのはこの2項目だけです。

#### <重要度>

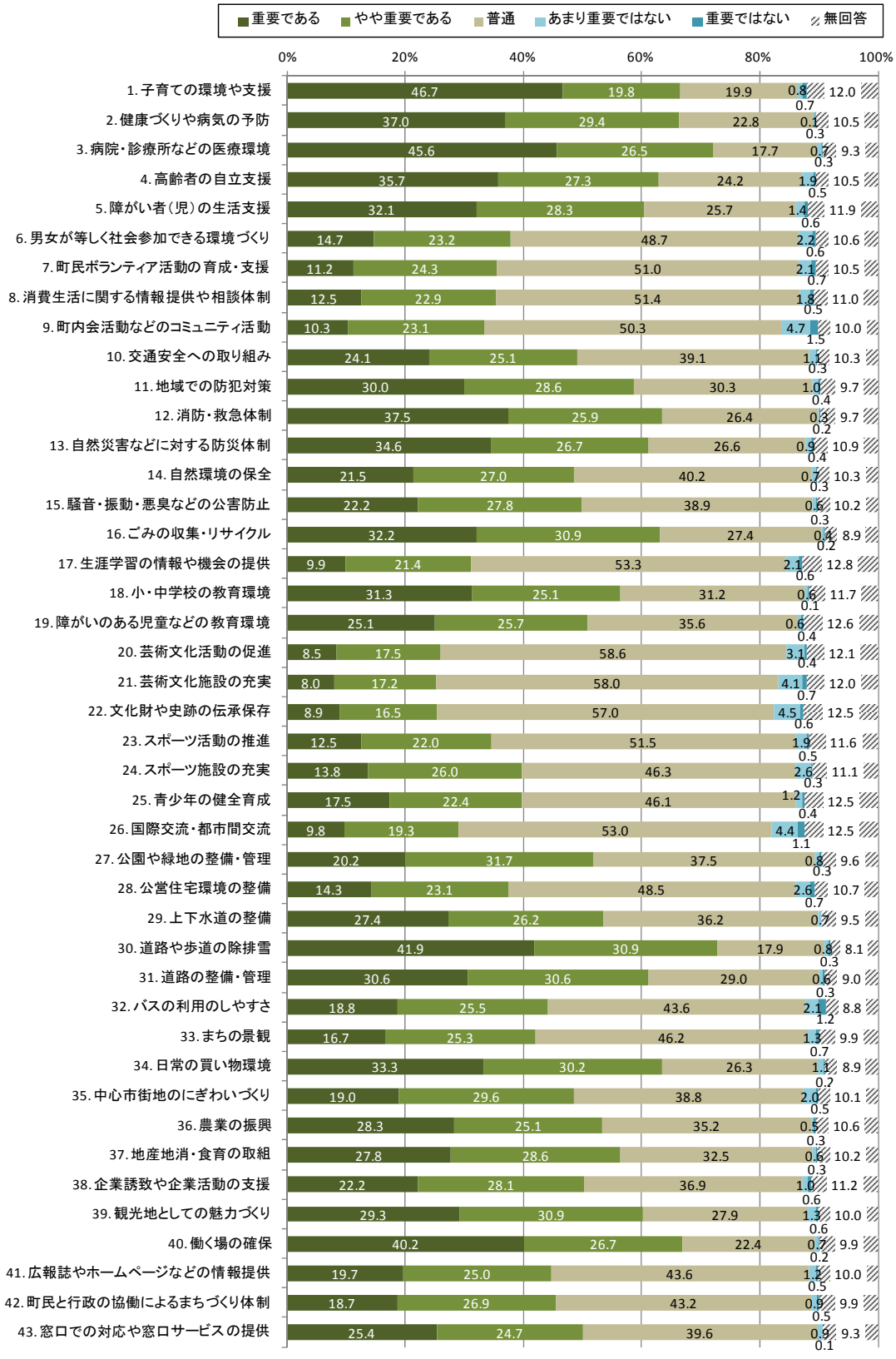
○「重要」が最も高いのは「1. 子育ての環境や支援」（46.7%）で、「3. 病院・診療所などの医療環境」（45.6%）、「30. 道路や歩道の除排雪」（41.9%）、「40. 働く場の確保」（40.2%）と続きます。この4項目は「重要」が4割以上を占めます。

○「重要ではない」が最も高いのは「9. 町内会活動などのコミュニティ活動」ですが、1.5%と低いです。

【問1】暮らしの満足度について(1,078人)



【問1】暮らしの重要度について(1,078人)



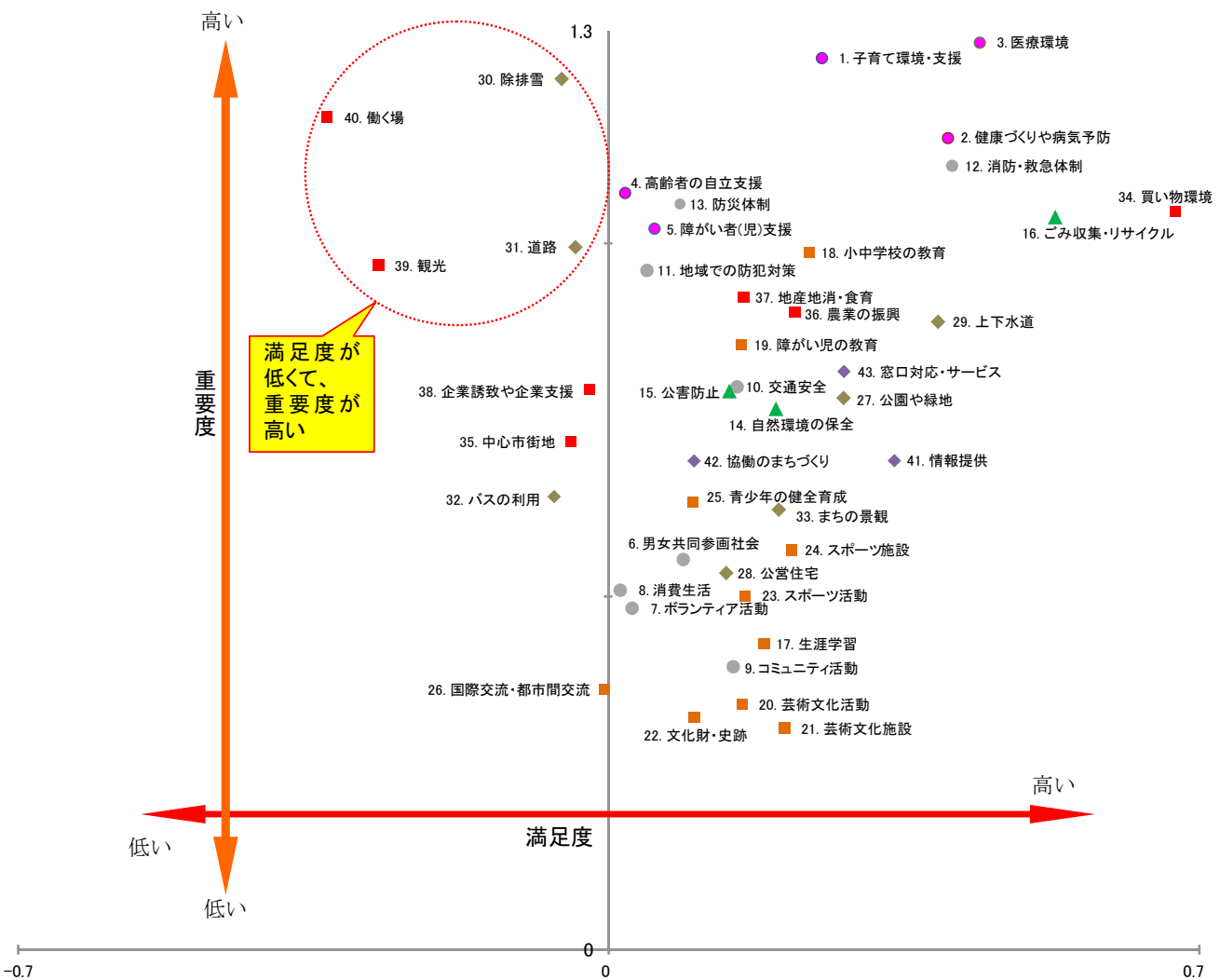
<加重平均値※での比較>

○重要度はすべてプラスです。

○満足度が低くて重要度が高い位置にあるものは、「30. 除排雪」「31. 道路」「39. 観光」「40. 働く場」などです。

※「加重平均値」は回答者が選んだ選択肢から平均を算出した数値です。算出方法は次の通りです。  
 満足度：{(満足×2)+(やや満足×1)+(普通×0)+(やや不満×-1)+(不満×-2)} ÷ 回答者数  
 重要度：{(重要×2)+(やや重要×1)+(普通×0)+(あまり重要ではない×-1)+(重要ではない×-2)} ÷ 回答者数  
 数値は-2から+2の範囲で、-2に近いほど低く、+2に近いほど高い、とみます。

- [分野の区分]
- 保健・医療・福祉
  - 生活環境や安全・安心
  - ▲ 生活基盤
  - 教育・スポーツ・文化・国際交流等
  - 産業
  - ◆ 産業
  - ◆ その他行政運営

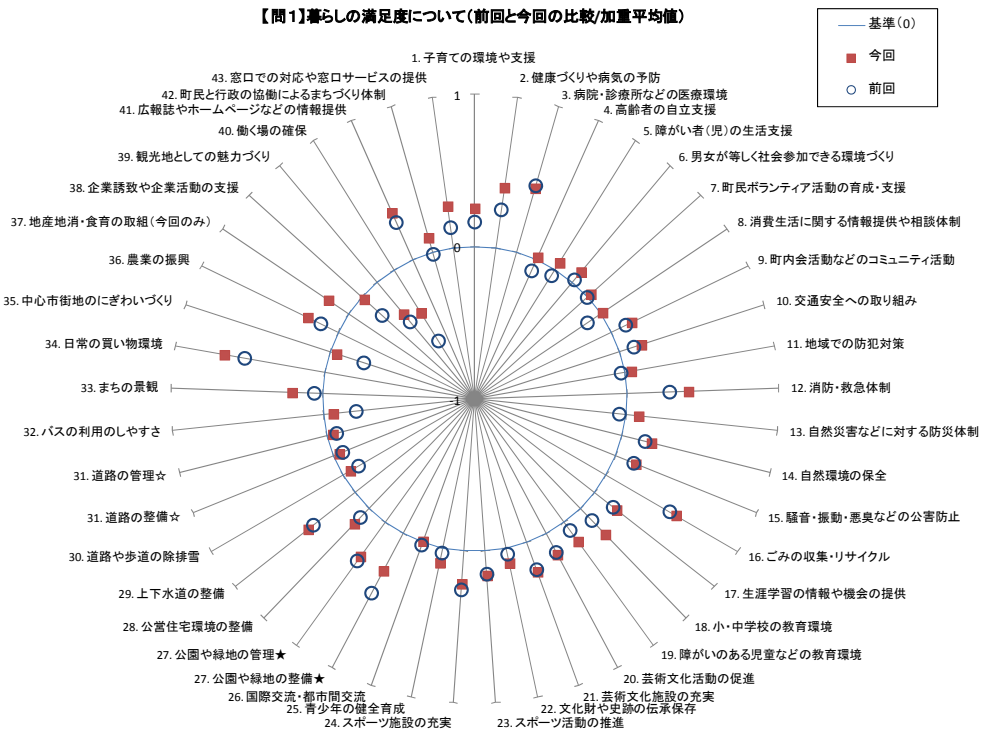


<加重平均での性別、年代別の比較（満足度・重要度）>

	満足度	重要度																								
性別	<ul style="list-style-type: none"> <li>●男性の満足度の方が高い（43項目中26項目が男性）</li> <li>●男女とも、最も高いのは「34. 日常の買い物環境」、最も低いのは「40. 働く場の確保」。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●女性の重要度の方が高い（43項目中31項目が女性）</li> <li>●男性で最も高いのは「1. 子育ての環境や支援」、女性は「3. 病院・診療所などの医療環境」。</li> </ul>																								
年代別	<ul style="list-style-type: none"> <li>●最高値は70歳以上で多い（43項目中36項目）最低値は50代が多い（40項目中25項目。うち2項目は同率）。</li> <li>●「7. 町民ボランティア活動の育成・支援」「33. まちの景観」「34. 日常の買い物環境」「35. 中心市街地のにぎわいづくり」「36. 農業の振興」「37. 地産地消・食育の取組」は30代、「40. 働く場の確保」は40代が最高。</li> <li>●70歳以上のみ「16. ごみの収集・リサイクル」が最高で、その他は「34. 日常の買い物環境」が最高。</li> <li>●40代のみ「39. 観光地としての魅力づくり」が最低で、その他は「40. 働く場の確保」が最低。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●最高値は70歳以上で最も多い（43項目中19項目。うち1項目は同率）。</li> </ul> <p>&lt;29歳以下で最高値の項目&gt;</p> <table border="0"> <tr> <td>2. 健康づくりや病気の</td> <td>12. 消防・救急体制(※)</td> </tr> <tr> <td>13. 自然災害などに対する防災体制</td> <td>14. 自然環境の保全</td> </tr> <tr> <td>15. 公害防止</td> <td>23. スポーツ活動の推進</td> </tr> <tr> <td>28. 公営住宅環境の整備</td> <td>33. まちの景観</td> </tr> <tr> <td>34. 日常の買い物環境</td> <td>35. 中心市街地のにぎわいづくり</td> </tr> <tr> <td>37. 地産地消・食育</td> <td>40. 働く場の確保</td> </tr> </table> <p>&lt;30代で最高値の項目&gt;</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 子育ての環境や支援</td> <td>3. 医療環境</td> </tr> <tr> <td>5. 障がい者(児)の支援</td> <td>10. 交通安全</td> </tr> <tr> <td>11. 地域での防犯対策</td> <td>16. ごみの収集・リサイクル</td> </tr> <tr> <td>18. 小・中学校の教育</td> <td>19. 障がい児の教育環境</td> </tr> <tr> <td>24. スポーツ施設</td> <td>27. 公園や緑地</td> </tr> <tr> <td>30. 除排雪</td> <td>31. 道路の整備・管理</td> </tr> </table> <p>※40代と60代は最高値なし。</p>	2. 健康づくりや病気の	12. 消防・救急体制(※)	13. 自然災害などに対する防災体制	14. 自然環境の保全	15. 公害防止	23. スポーツ活動の推進	28. 公営住宅環境の整備	33. まちの景観	34. 日常の買い物環境	35. 中心市街地のにぎわいづくり	37. 地産地消・食育	40. 働く場の確保	1. 子育ての環境や支援	3. 医療環境	5. 障がい者(児)の支援	10. 交通安全	11. 地域での防犯対策	16. ごみの収集・リサイクル	18. 小・中学校の教育	19. 障がい児の教育環境	24. スポーツ施設	27. 公園や緑地	30. 除排雪	31. 道路の整備・管理
2. 健康づくりや病気の	12. 消防・救急体制(※)																									
13. 自然災害などに対する防災体制	14. 自然環境の保全																									
15. 公害防止	23. スポーツ活動の推進																									
28. 公営住宅環境の整備	33. まちの景観																									
34. 日常の買い物環境	35. 中心市街地のにぎわいづくり																									
37. 地産地消・食育	40. 働く場の確保																									
1. 子育ての環境や支援	3. 医療環境																									
5. 障がい者(児)の支援	10. 交通安全																									
11. 地域での防犯対策	16. ごみの収集・リサイクル																									
18. 小・中学校の教育	19. 障がい児の教育環境																									
24. スポーツ施設	27. 公園や緑地																									
30. 除排雪	31. 道路の整備・管理																									

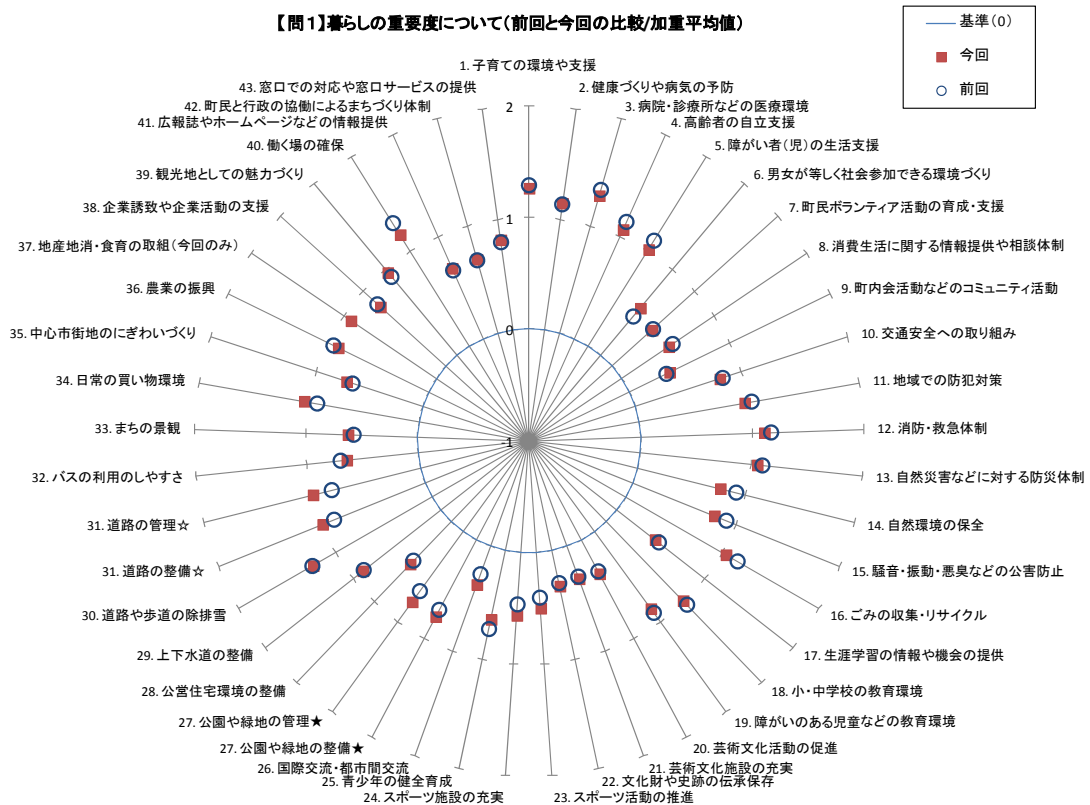
【前回との比較】

○前回より数値が下がったのは「3. 病院・診療所などの医療環境」「24. スポーツ施設の充実」「26. 国際交流・都市間交流」「27. 公園や緑地の整備・管理」の4項目のみで、他は前回よりも数値が上回っています。



<重要度（加重平均での比較）>

○前回より数値が上がった項目と、下がった項目は、ほぼ同数です。前回と今回で数値に最も差があるのは「14. 自然環境の保全」です。



- ★：「27.公園や緑地の整備」「27.公園や緑地の管理」は、前回の項目「公園や緑地の整備」「公園や緑地の管理」に合わせて、今回の項目「27.公園や緑地の整備・管理」の数値を重複して掲載。
- ☆：「31.道路の整備」「31.道路の管理」は、前回の項目「道路の整備」「道路の管理」に合わせて、今回の項目「31.道路の整備・管理」の数値を重複して掲載。
- ※「37.地産地消・食育の取組」は今回のみ。

1-1 今後のまちづくりで特に重要だと思うもの

【問1-1】43項目の中で、今後のまちづくりの中で特に重要だと思う項目を、優先順位の高いものから5つまで選んでください。

○1番目に優先すべきものとして「1. 子育ての環境や支援」が最も高く1番目から5番目までの合計も「1. 子育ての環境や支援」が最も高いです。

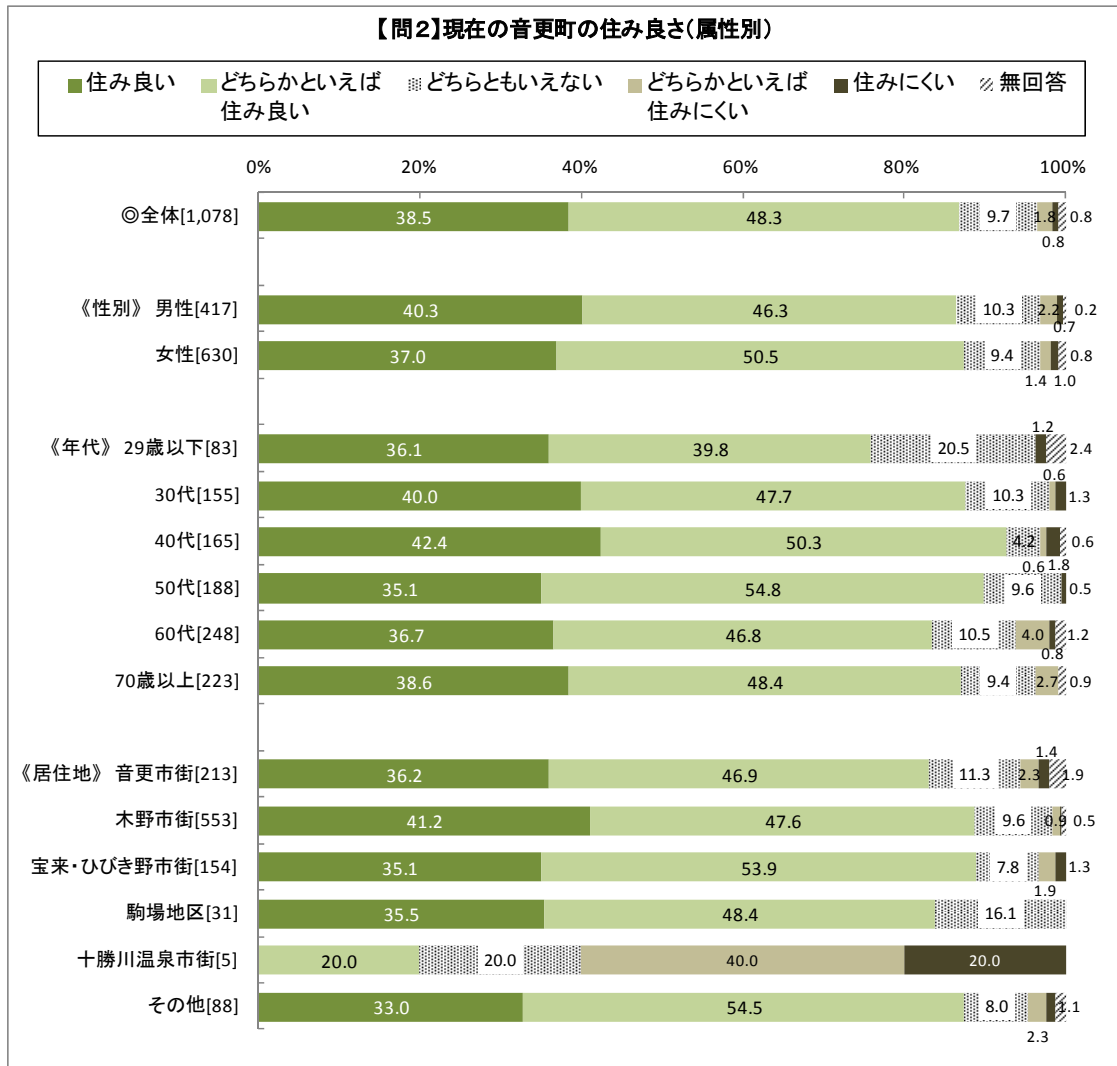
1番目に優先すべきもの	1番目から5番目までの合計
① 「1. 子育ての環境や支援」	① 「1. 子育ての環境や支援」
② 「3. 病院・診療所などの医療環境」	② 「40. 働く場の確保」
③ 「4. 高齢者の自立支援」	③ 「30. 道路や歩道の除排雪」
④ 「40. 働く場の確保」	④ 「4. 高齢者の自立支援」
⑤ 「30. 道路や歩道の除排雪」	⑤ 「3. 病院・診療所などの医療環境」



## 2 住みよさ

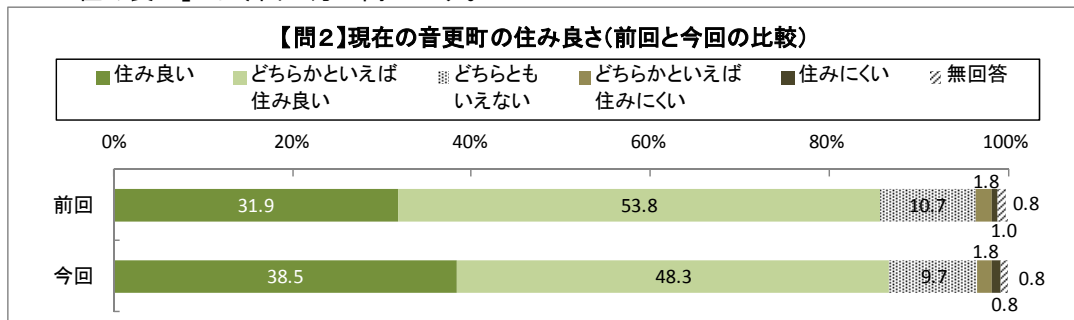
【問2】総合的にみて、現在の音更町の住み良さはいかがですか。

○「どちらかといえば住み良い」が 48.3%と約半数を占め、「住み良い」(38.5%)が続きます。合計すると 86.8%で、程度の差はあれ9割近くが“住み良い”と感じています。



### 【前回との比較】

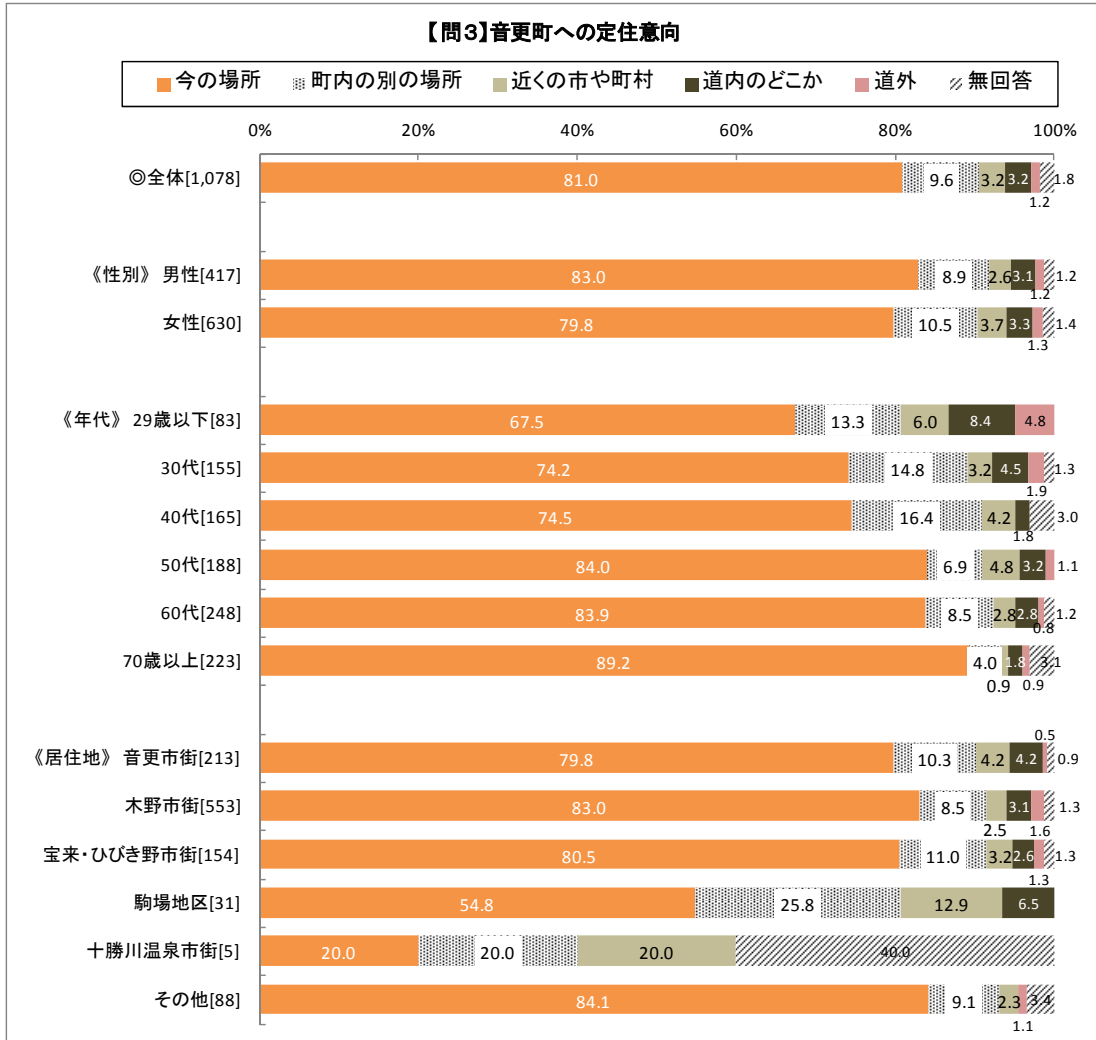
○「住み良い」「どちらかといえば住み良い」を合計した割合は前回とほぼ同率ですが、「住み良い」は今回の方が高いです。



### 3 定住意向

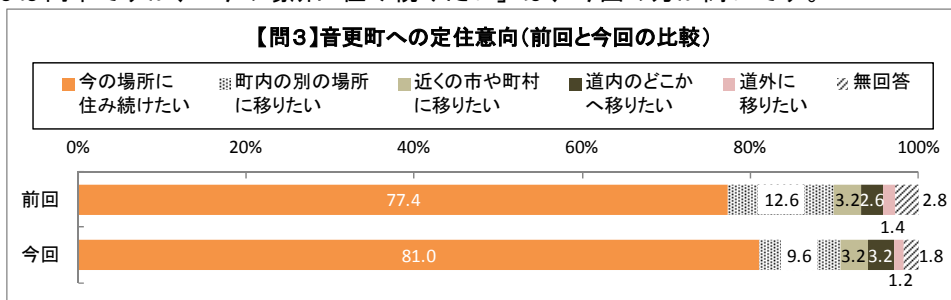
【問3】 これからも、音更町に住み続けたいと思いますか。

○「今の場所に住み続けたい」が81.0%と最も高く、「町内の別の場所に移りたい」(9.6%)が続きます。「今の場所に住み続けたい」と「町内の別の場所に移りたい」を合わせると90.6%で、約9割は音更町内に“住み続けたい”と考えています。



#### 【前回との比較】

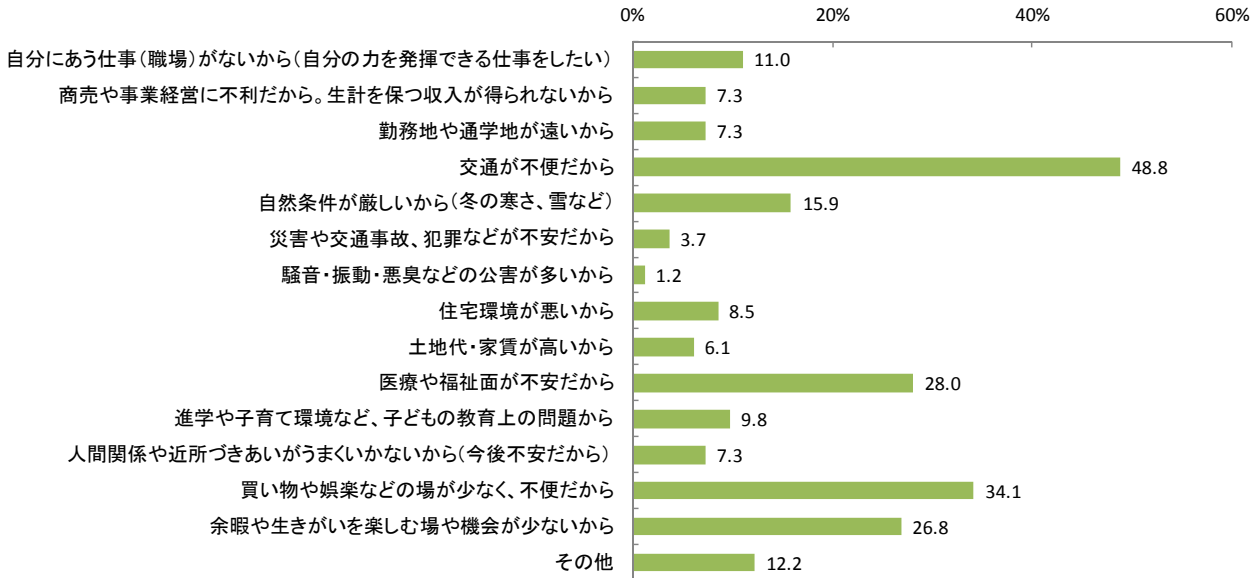
○「今の場所に住み続けたい」と「町内の別の場所に移りたい」を合計した割合は前回とほぼ同率ですが、「今の場所に住み続けたい」は、今回の方が高いです。



【問4】前問（問3）で、3～5に○印をつけられた方におたずねします。町外に移りたいと思う主な理由はどのようなことですか。

○「交通が不便だから」（48.8%）が最も高く、「買い物や娯楽などの場が少なく、不便だから」（34.1%）、「医療や福祉面が不安だから」（28.0%）、「余暇や生きがいを楽しむ場や機会が少ないから」（26.8%）と続きます。

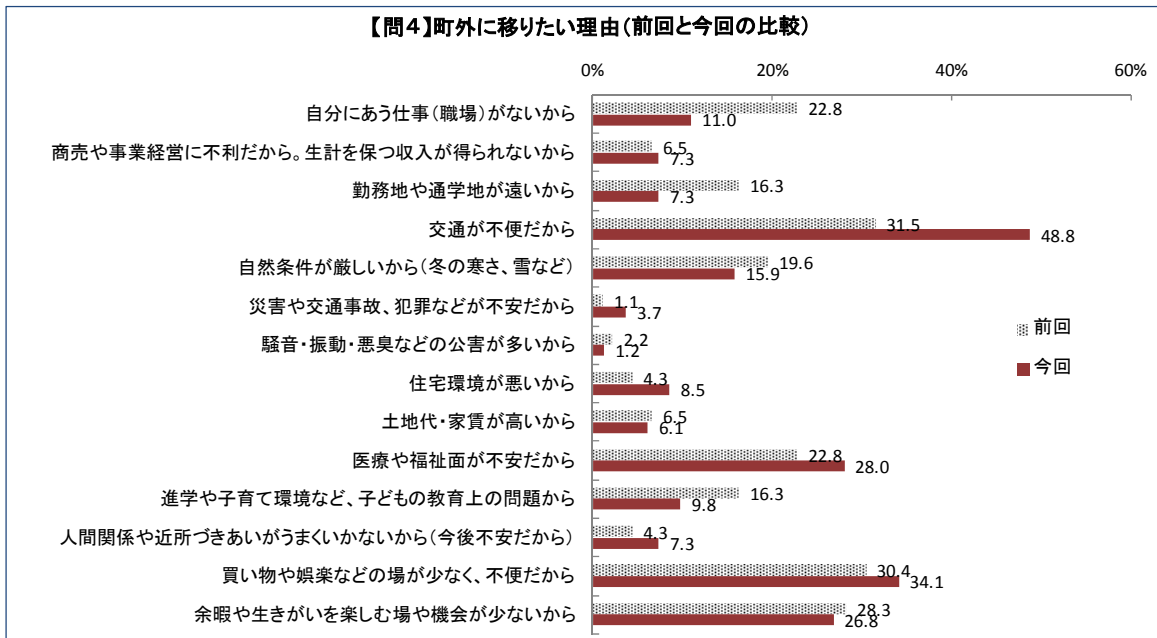
【問4】町外に移りたい理由(3つまで選択/82人)



【前回との比較】

○前回と同様、「交通が不便だから」が第1位ですが、今回の方が高いです。そのほか、「医療や福祉面が不安だから」や「買い物や娯楽などの場が少なく、不便だから」なども、今回の方が高いです。

【問4】町外に移りたい理由(前回と今回の比較)

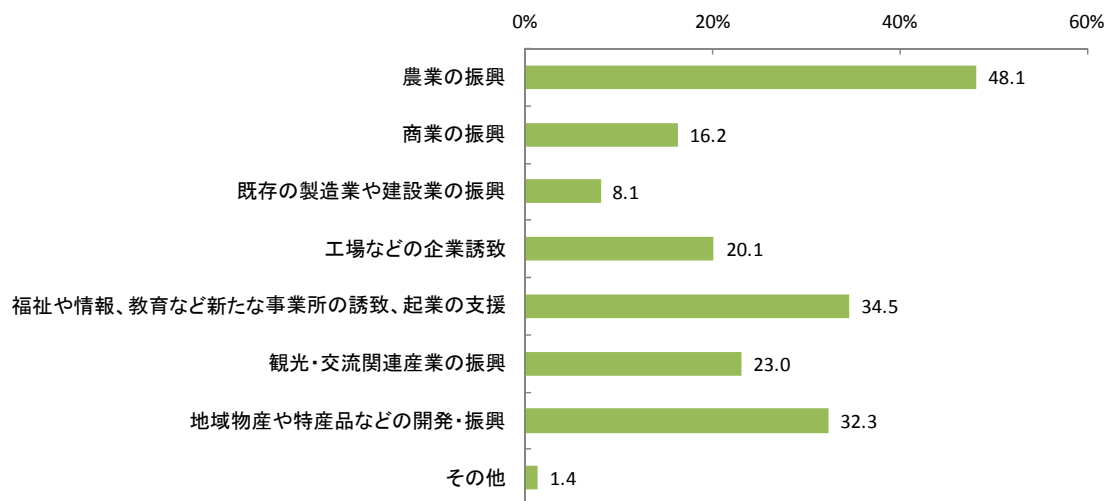


#### 4 産業の振興

【問5】音更町の産業振興について、特にどの分野に力を注ぐべきだとお考えでしょうか。

○「農業の振興」(48.1%)が最も高く、「福祉や情報、教育など新たな事業所の誘致、起業の支援」(34.5%)、「地域物産や特産品などの開発・振興」(32.3%)と続きます。

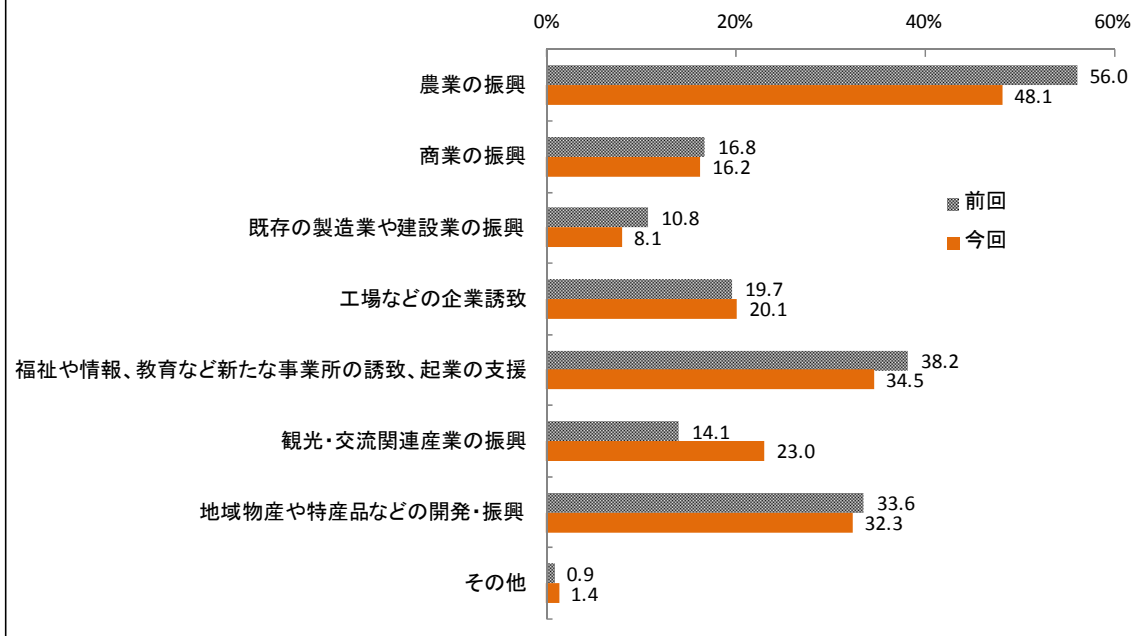
【問5】力を注ぐべき産業振興(3つまで選択/1,078人)



#### 【前回との比較】

○前回と同様、「農業の振興」が第1位ですが、前回の方が高いです。また、「観光・交流関連産業の振興」は今回の方が高く、差がみられます。

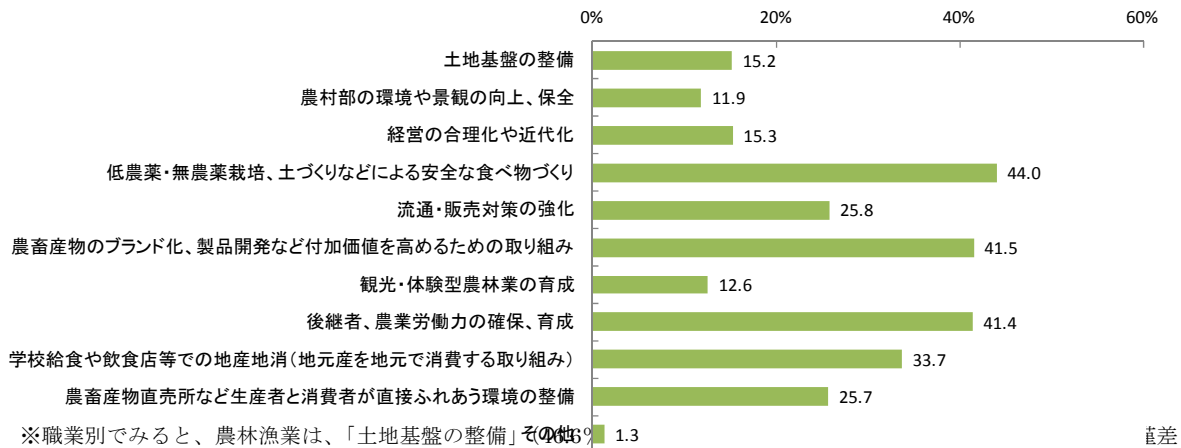
【問5】力を注ぐべき産業振興(前回と今回の比較)



【問6】音更町の基幹産業である農業を振興するために、今後どのようなことに力を注ぐべきだとお考えでしょうか。

- 「低農薬・無農薬栽培、土づくりなどによる安全な食べ物づくり」(44.0%)が最も高く、「農畜産物のブランド化、製品開発など付加価値を高めるための取り組み」(41.5%)、「後継者、農業労働力の確保、育成」(41.4%)と、上位3項目が僅差で続きます。

【問6】力を注ぐべき農業振興(3つまで選択/1,078人)

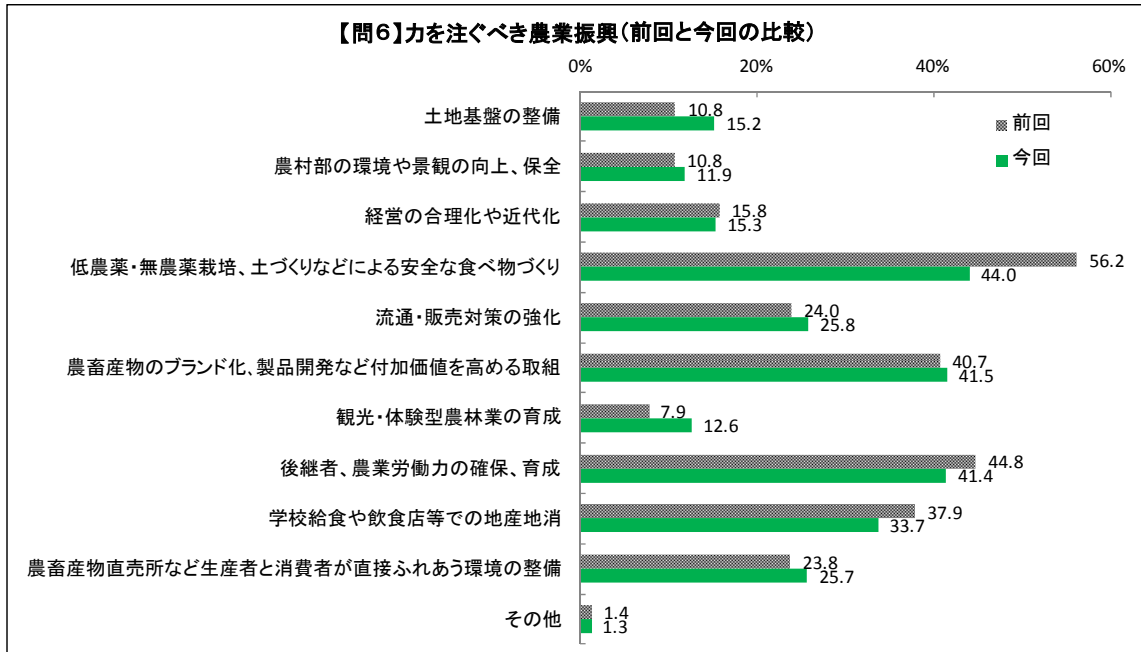


※職業別でみると、農林漁業は、「土地基盤の整備」(45.2%)で2位、「農畜産物のブランド化、製品開発など付加価値を高めるための取り組み」(37.0%)が第3位。

【前回との比較】

- 前回と同様、「低農薬・無農薬栽培、土づくりなどによる安全な食べ物づくり」が第1位ですが、前回の方が高いです。また、「土地基盤の整備」や「観光・体験型農林業の育成」などは、今回の方が高いです。

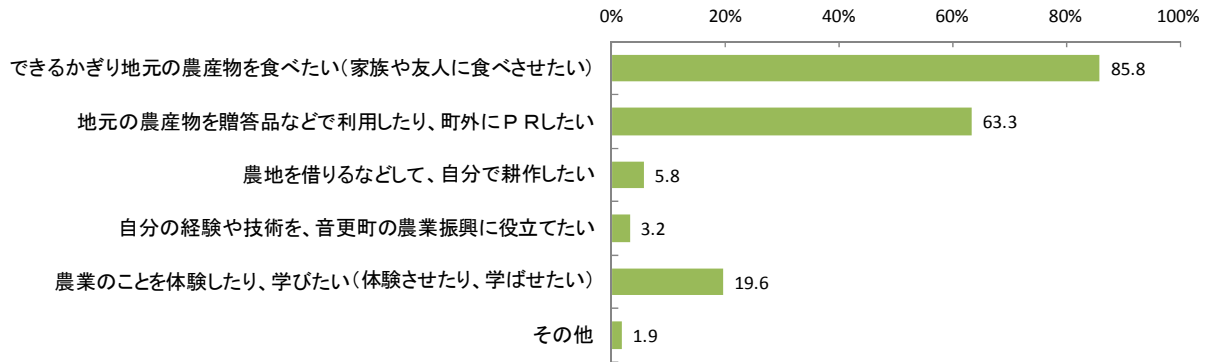
【問6】力を注ぐべき農業振興(前回と今回の比較)



【問7】音更町の基幹産業である農業とのかかわりを深めるために、どのようなことがしたい（できる）と思いますか。

○「できるかぎり地元の農産物を食べたい（家族や友人に食べさせたい）」（85.8%）が最も高く、「地元の農産物を贈答品などで利用したり、町外にPRしたい」（63.3%）が続きます。

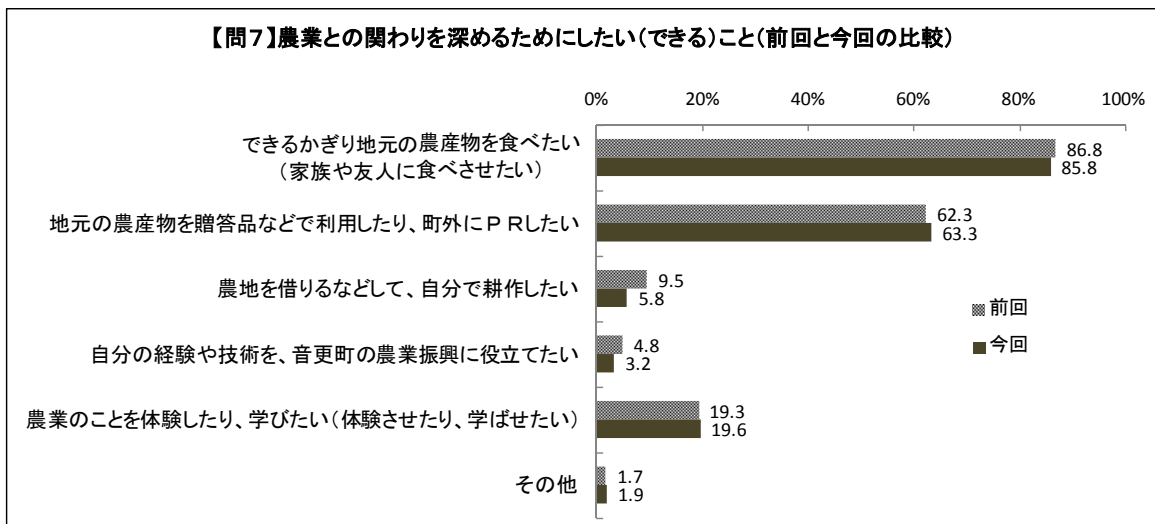
【問7】農業との関わりを深めるためにしたい(できる)こと(2つまで選択/1,078人)



※職業別でみると、農林漁業と他の職業に大きな差はありませんが、「自分の経験や技術を、音更町の農業振興に役立てたい」は、農林漁業の回答率が他の職業に比べて高く（15.1%）、差がみられます。

【前回との比較】

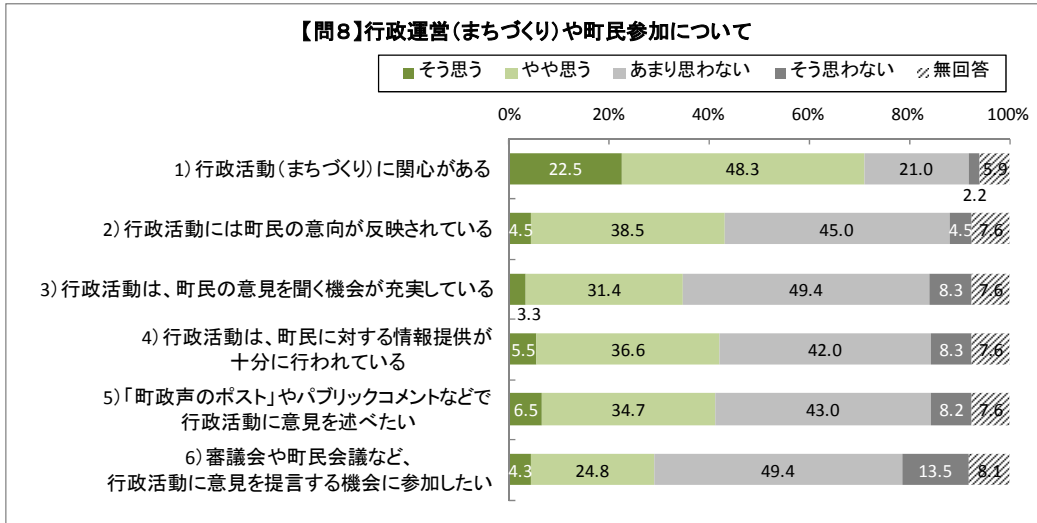
○前回と同様、「できるかぎり地元の農産物を食べたい（家族や友人に食べさせたい）」が第1位です。全体的に、回答傾向に大きな差はありません。



## 5 まちづくりへの関心や参加

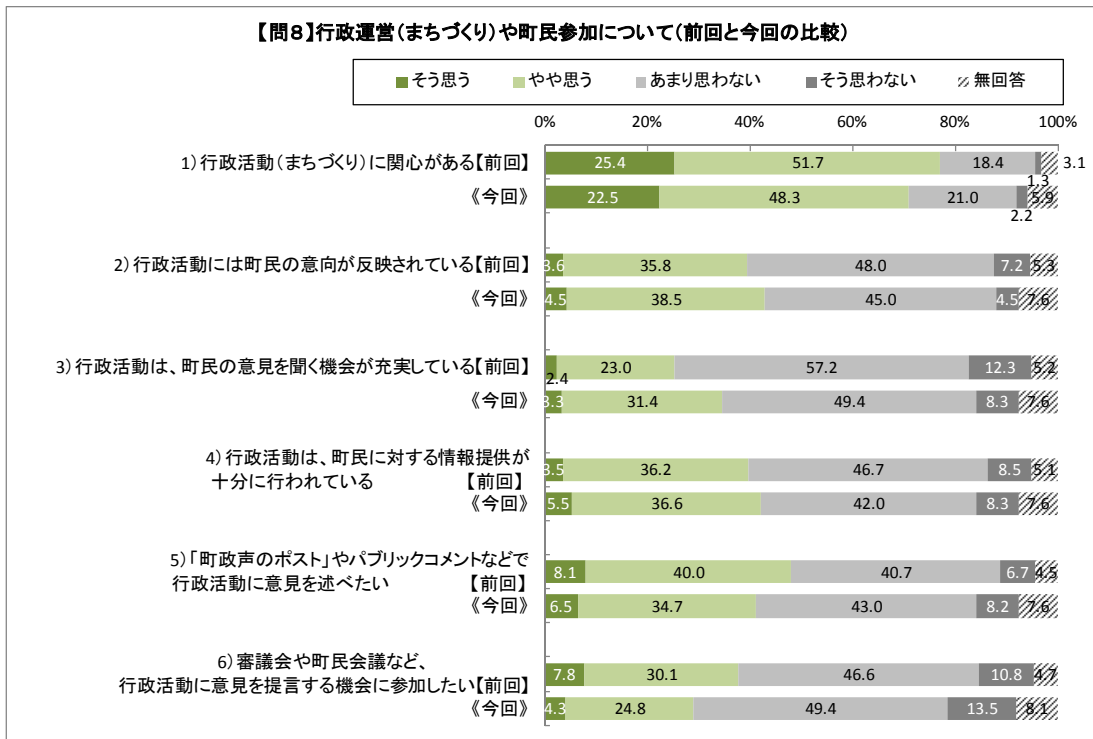
【問8】行政運営や町民参加に関する次の項目について、それぞれどのようにお考えですか。

○「そう思う」「やや思う」ともに高いのは「1) 行政活動（まちづくり）に関心がある」で、合計すると 70.8% となり、約 7 割を占めます。一方、2)～6) の項目は、「あまり思わない」「そう思わない」が最も高く、「そう思わない」との合計が、どの項目も過半数をこえます。



### 【前回との比較】

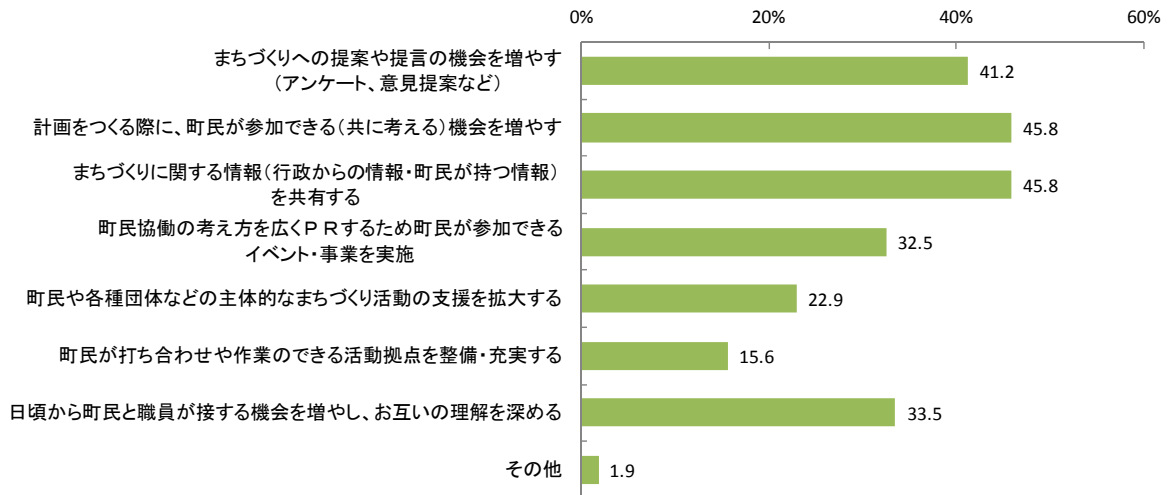
○前回と同様、「そう思う」が最も高いのは「1) 行政活動（まちづくり）に関心がある」ですが、「そう思う」「やや思う」ともに今回の方が低いです。2)、3)、4) は、「そう思う」「やや思う」が、僅かですが今回の方が高いです。



【問9】音更町では、「まちづくり基本条例」を定め、“町民協働によるまちづくり”を進めています。このような「町民協働によるまちづくり」を進めるうえで、どのようなことが重要だとお考えですか。

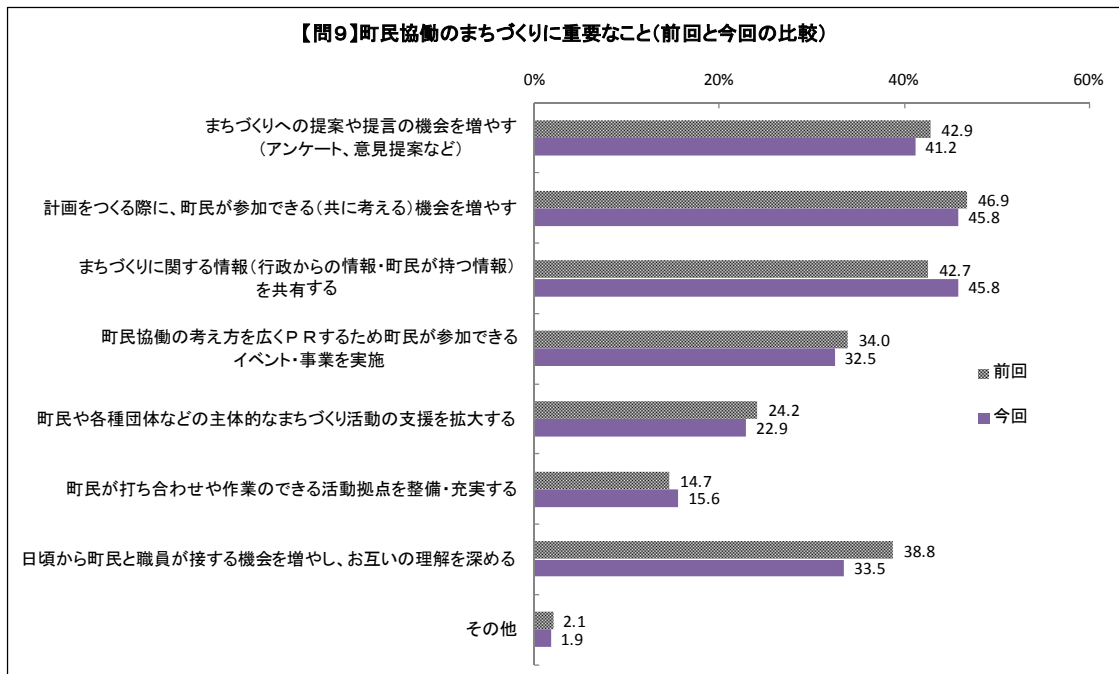
- 「計画をつくる際に、町民が参加できる（共に考える）機会を増やす」と「まちづくりに関する情報（行政からの情報・町民が持つ情報）を共有する」がともに 45.8%で最も高く、「まちづくりへの提案や提言の機会を増やす」（41.2%）が続きます。

【問9】町民協働のまちづくりに重要なこと(あてはまるものすべて選択/1,078人)



【前回との比較】

- 上位3位については、順位の違いはあるものの、前回と今回で大きな差はみられません。その中で「まちづくりに関する情報（行政からの情報・町民が持つ情報）を共有する」は、今回の方が高いです。

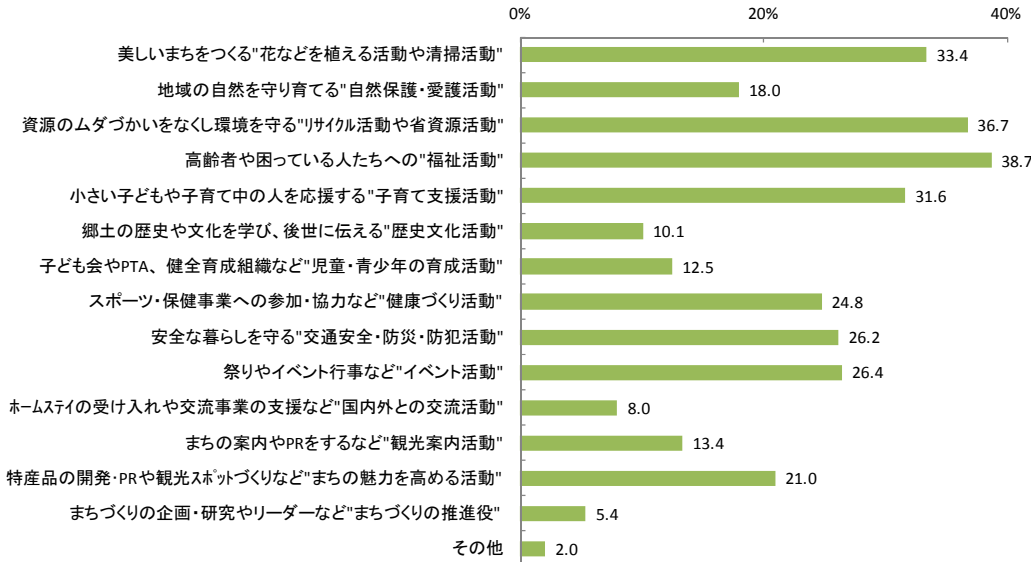




【問 10】まちづくり活動に参加するとしたら、どのような活動に参加したいですか。

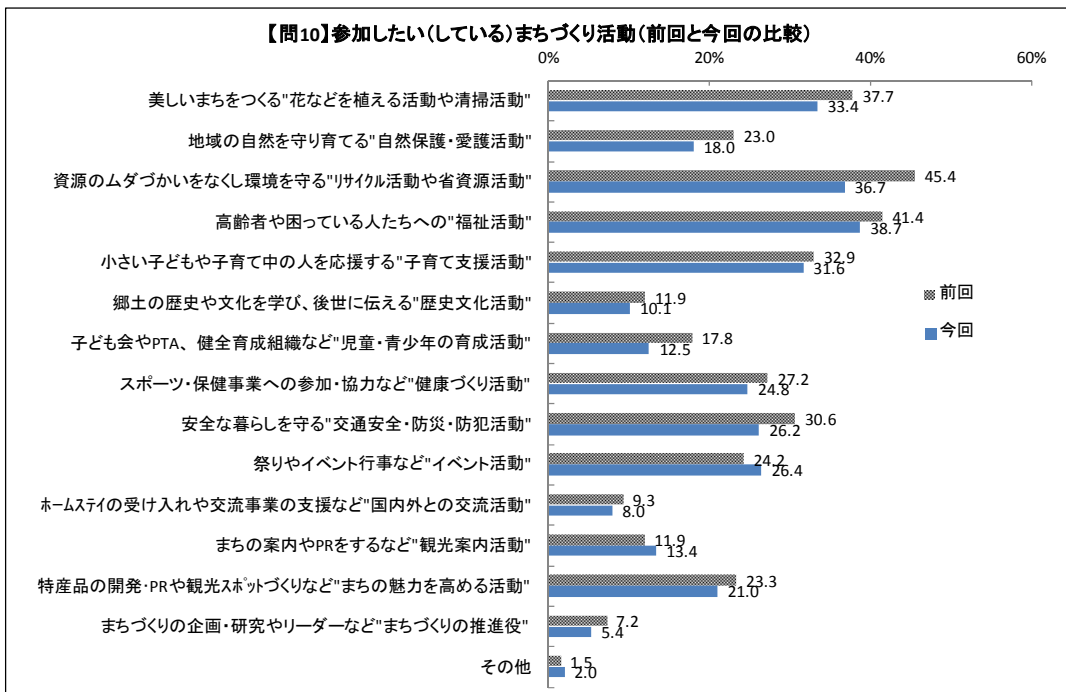
○「高齢者や困っている人たちへの“福祉活動”」が 38.7%と最も高く、「資源のムダづかいをなくし環境を守る“リサイクル活動や省資源活動”」(36.7%)、「美しいまちをつくる“花などを植える活動や清掃活動”」(33.4%)、「小さい子どもや子育て中の人を応援する“子育て支援活動”」(31.6%)と続きます。

【問10】参加したい(している)まちづくり活動(あてはまるものすべて選択/1,078人)



【前回との比較】

○上位3位については、順位の違いはあるものの同じ項目ですが、いずれも今回の方が低いです。今回の方が高いのは、「その他」をのぞくと「祭りやイベント行事など“イベント活動”」と「まちの案内やPRをするなど“観光案内活動”」の2項目のみです。

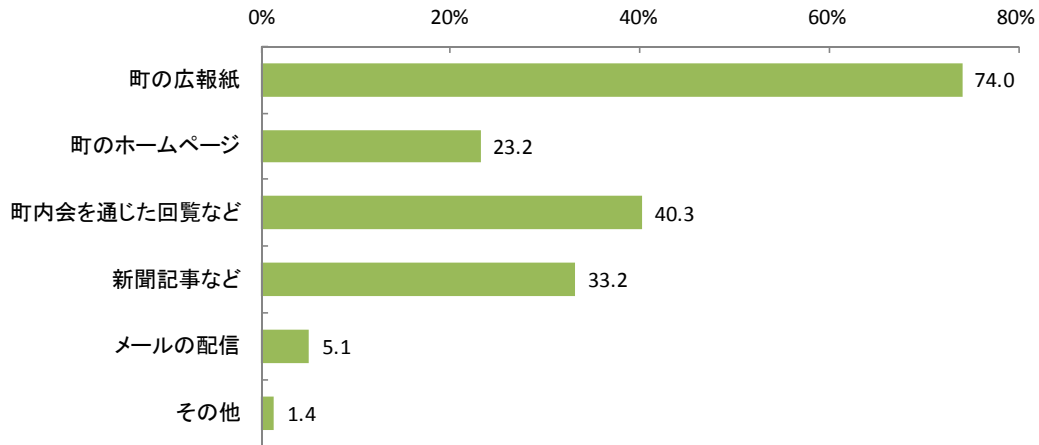


## 6 広報、情報提供

【問 11】 町政（まちづくり）や地域に関する情報を伝える方法として、何を重視（充実）すべきと思いますか。次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけてください。

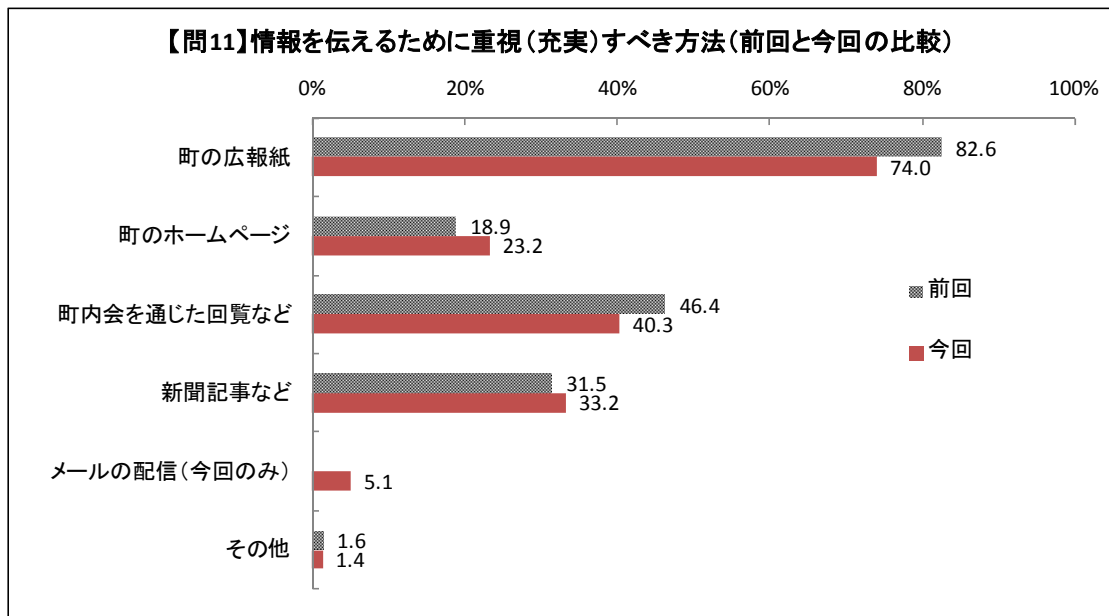
○「町の広報紙」（74.0%）が最も高く、「町内会を通じた回覧など」（40.3%）、「新聞記事など」（33.2%）、「町のホームページ」（23.2%）、「メールの配信」（5.1%）と続きます。

【問11】情報を伝えるために重視(充実)すべき方法(2つまで選択/1,078人)



### 【前回との比較】

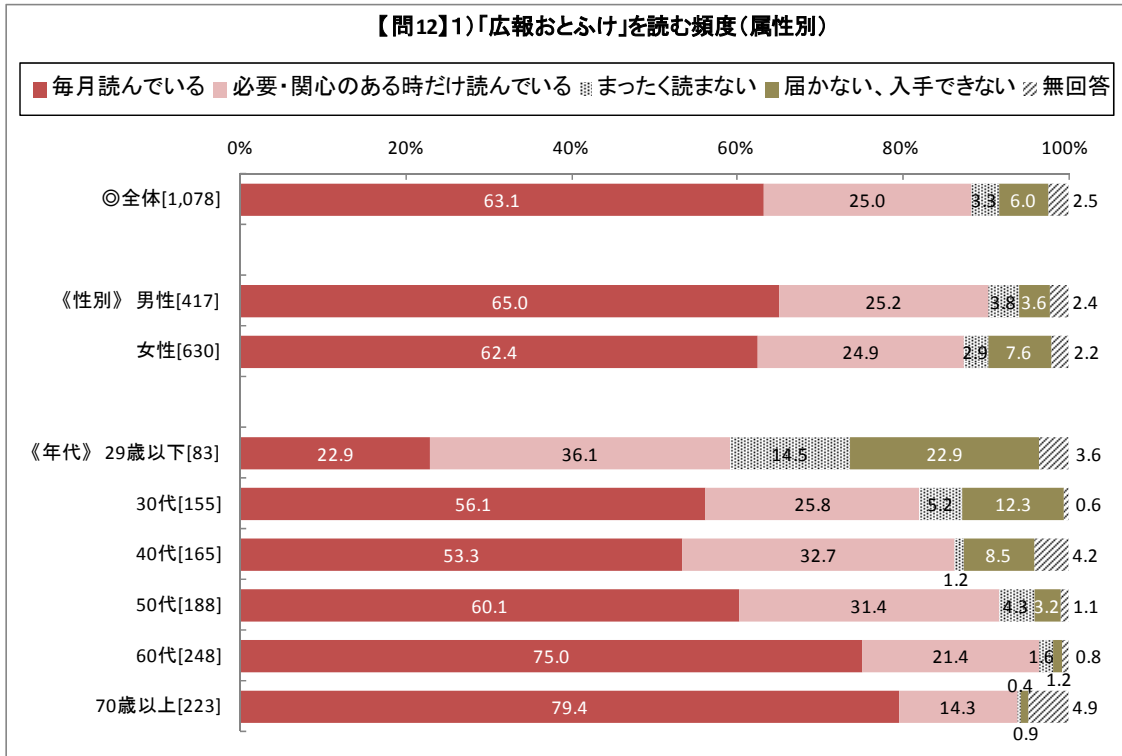
○上位3位をはじめ、回答傾向に差はみられませんが、「町のホームページ」と「新聞記事など」は、僅かですが今回の方が高いです。



【問 12】音更町では、毎月1回発行の「広報おとふけ」と町のホームページで、町に関する情報をお伝えしています。あなたは、どのくらいご覧になりますか。

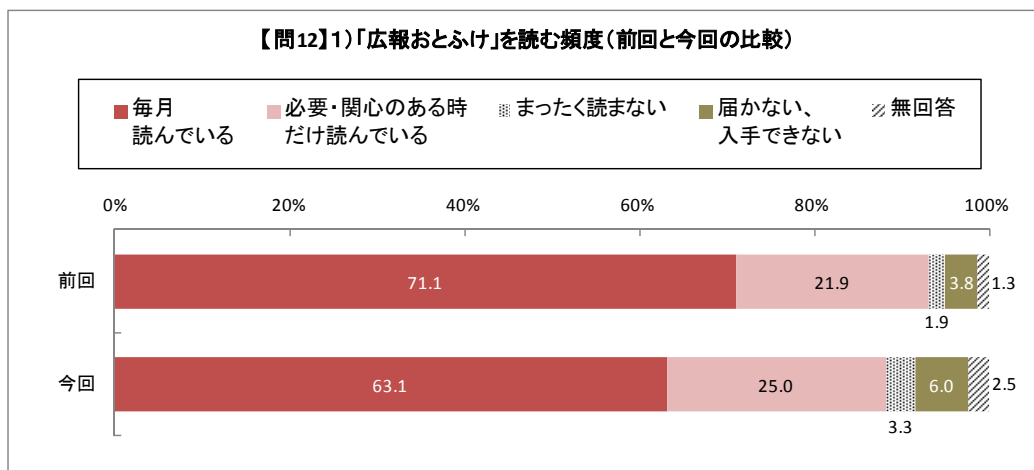
1) 「広報おとふけ」について

○「毎月読んでいる」が63.1%と約6割を占め、「必要・関心のある時だけ読んでいる」(25.0%)が続きます。「まったく読まない」は3.3%、「届かない、入手できない」は6.0%です。



[前回との比較]

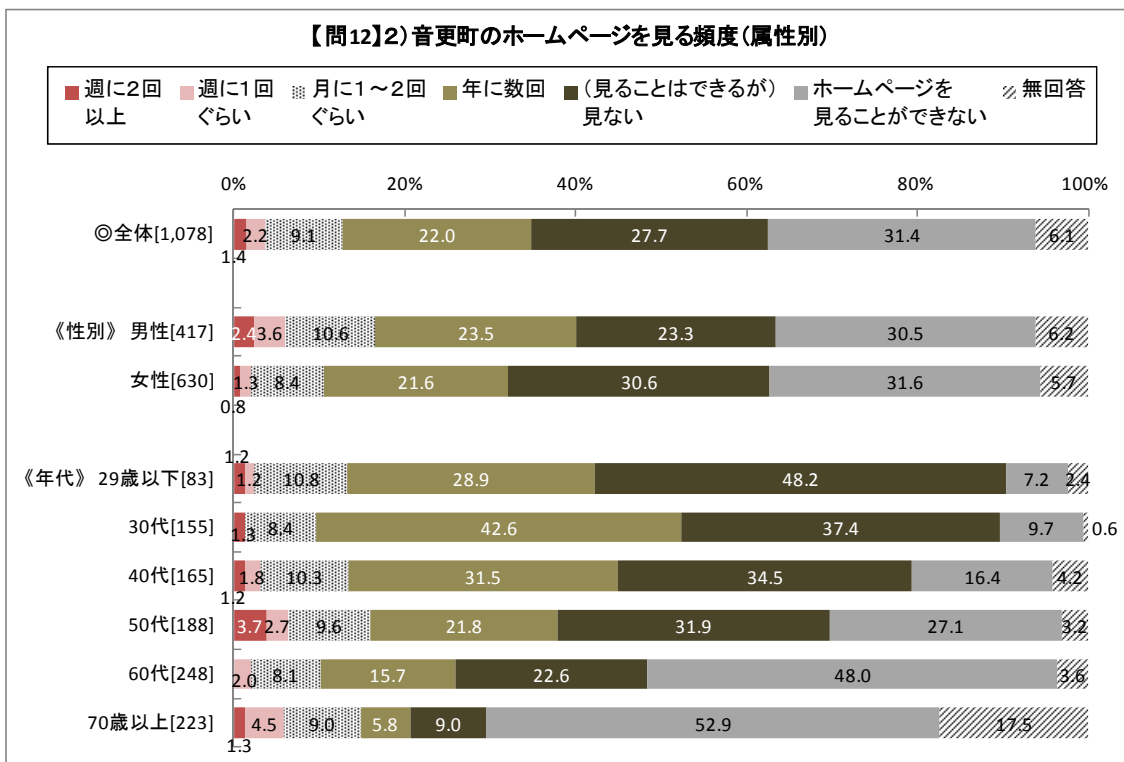
○「毎月読んでいる」は前回の方が高く、「必要・関心のある時だけ読んでいる」は今回の方が高いです。「まったく読まない」「届かない、入手できない」は今回の方が高いです。



## 2) 町のホームページについて

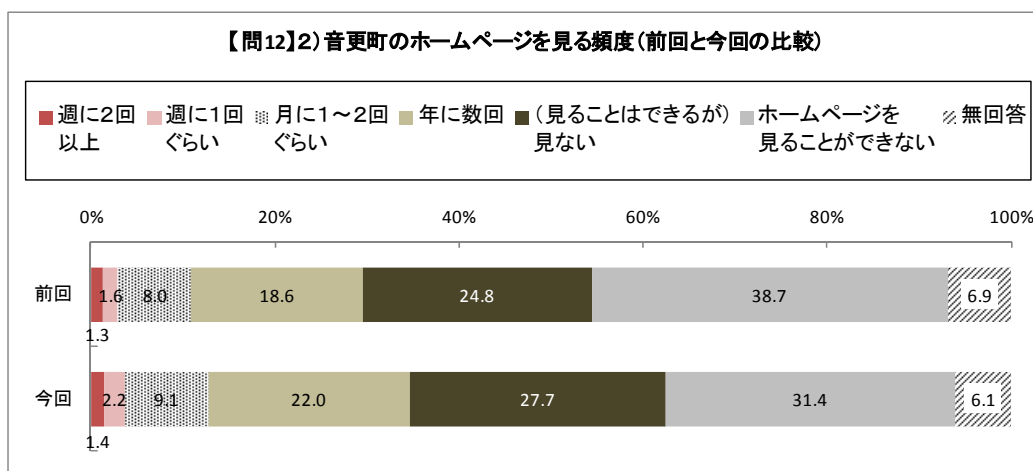
○音更町のホームページを見る程度については、「ホームページを見ることができない」が31.4%で最も高く、「(見ることはできるが) 見ない」(27.7%)が続きます。

○見ている回答者の頻度としては、「年に数回」(22.0%)が最も高く、「月に1～2回ぐらい」(9.1%)、「週に1回ぐらい」(2.2%)、「週に2回以上」(1.4%)の順です。



### [前回との比較]

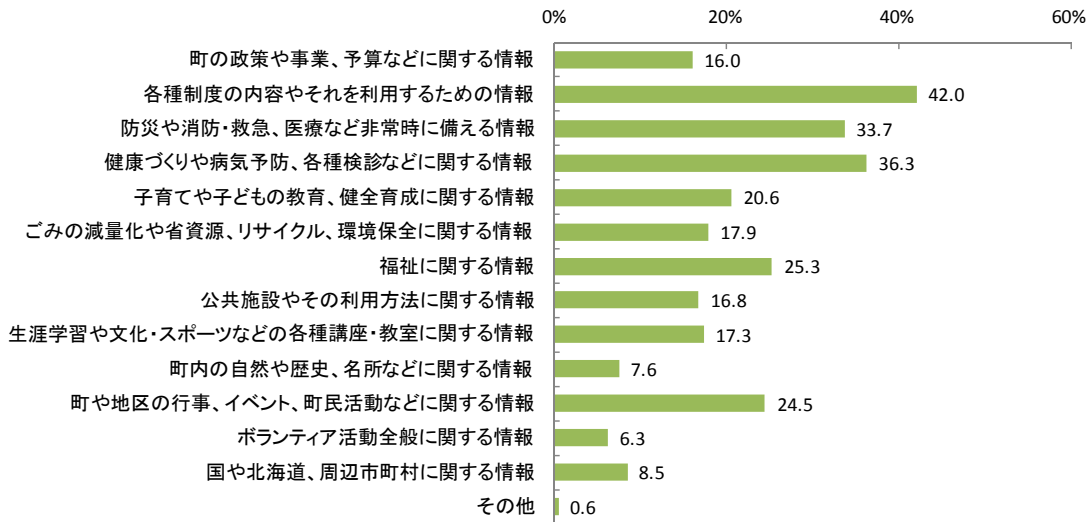
○「ホームページを見ることができない」は前回より低くなり、「週に2回以上」「週に1回ぐらい」「月に1～2回ぐらい」「年に数回」のいずれも、僅かですが今回の方が高いです。一方、「(見ることはできるが) 見ない」も今回の方がやや高いです。



【問 13】 町政（まちづくり）や地域に関する情報として、どのような内容が欲しいと思いますか。

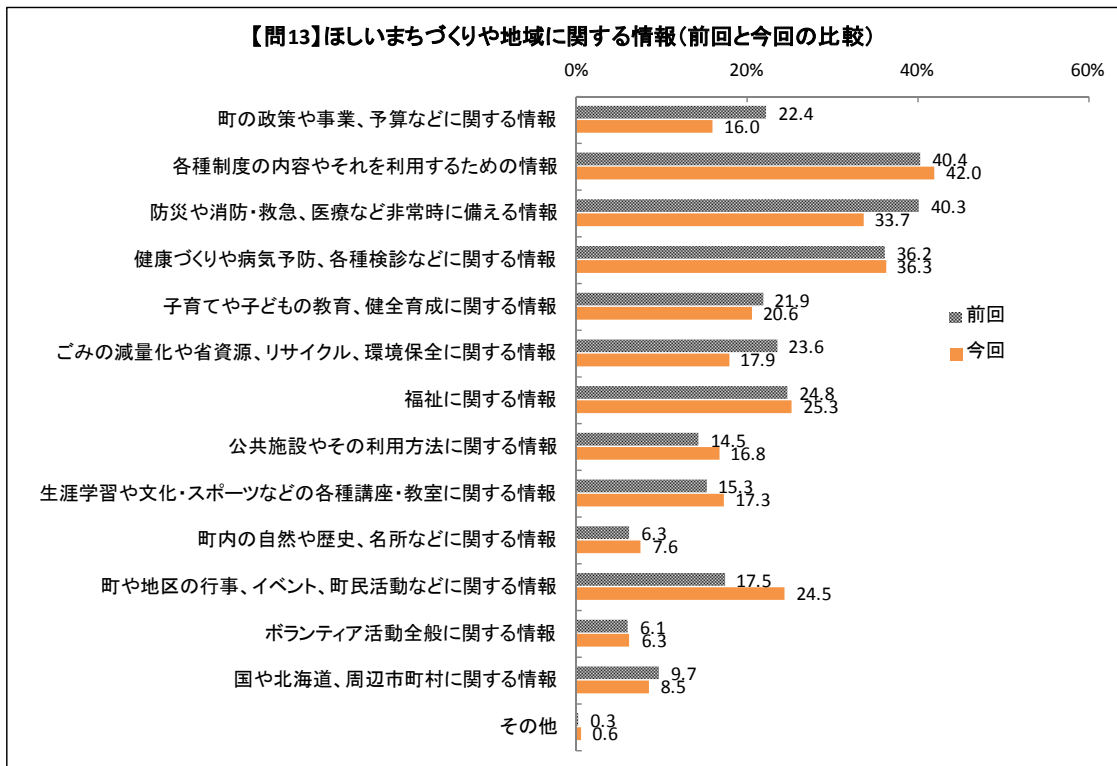
○「各種制度の内容やそれを利用するための情報」（42.0%）が最も高く、「健康づくりや病気予防、各種検診などに関する情報」（36.3%）、「防災や消防・救急、医療など非常時に備える情報」（33.7%）が続きます。

【問13】ほしいまちづくりや地域に関する情報(3つまで選択/1,078人)



【前回との比較】

○上位3位については、順位の違いはあるものの同じ項目ですが、「防災や消防・救急、医療など非常時に備える情報」は今回低いです。一方、「町や地区の行事、イベント、町民活動などに関する情報」は今回の方が高いです。

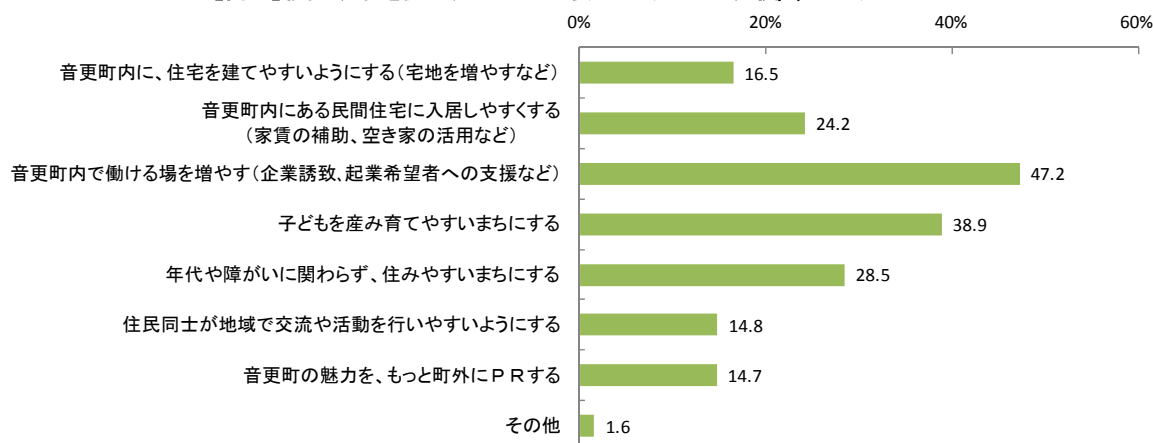


## 7 移住・定住

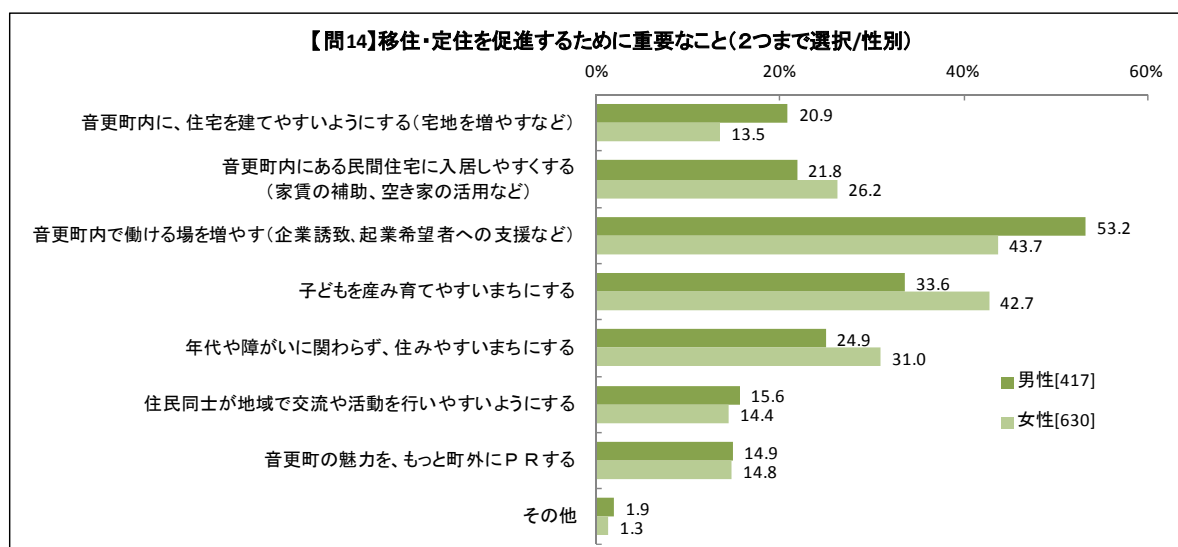
【問 14】音更町では、「住み続けたい、住んでみたいまち」をめざし、住環境の整備や働く場の確保、コミュニティ活動の支援などを行っています。今後、さらに『本町への移住・定住』を促進するために、どのようなことが重要だと思いますか。

○「音更町内で働ける場を増やす（企業誘致、起業希望者への支援など）」（47.2%）が最も高く、「子どもを産み育てやすいまちにする」（38.9%）が続きます。

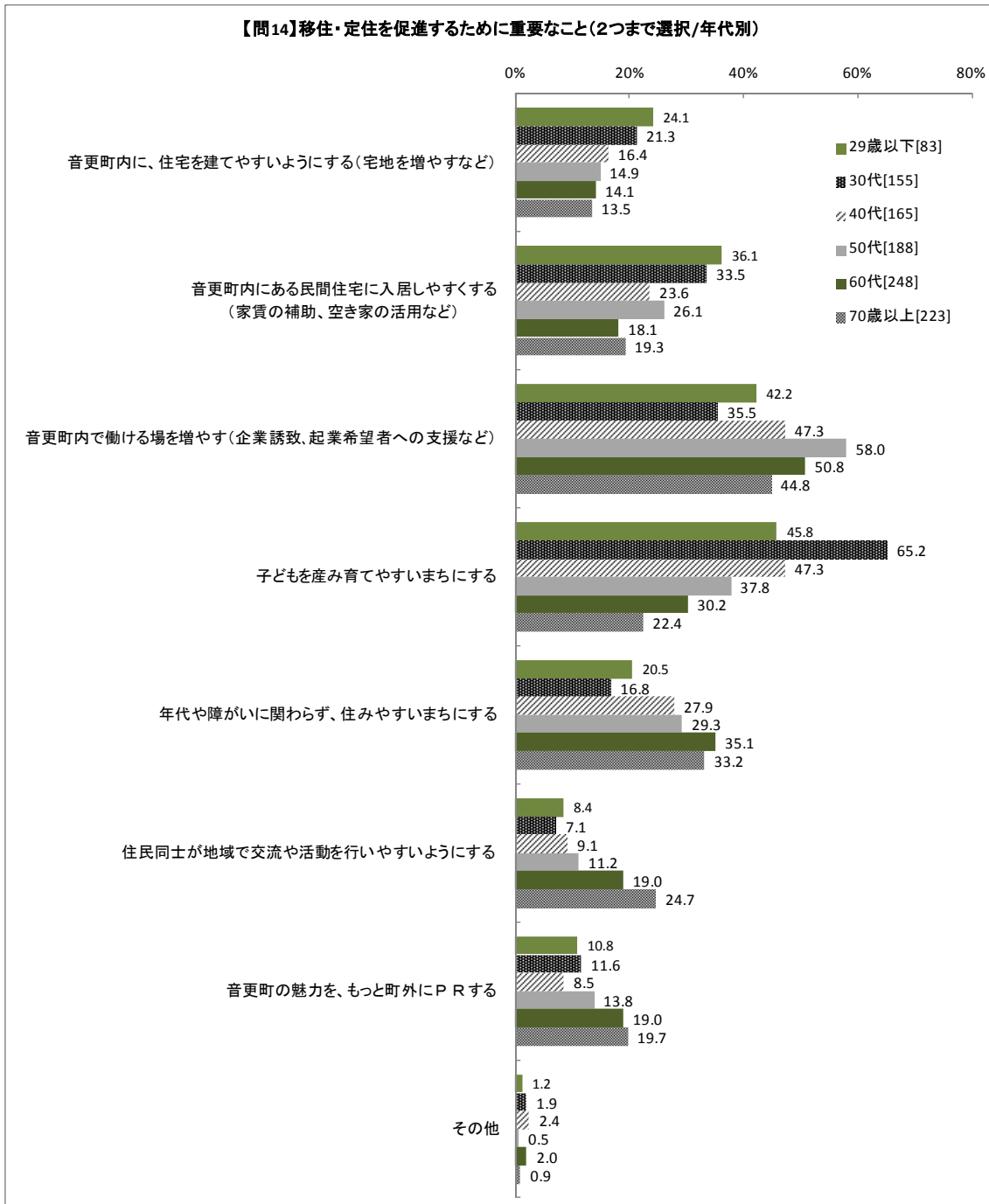
【問14】移住・定住を促進するために重要なこと(2つまで選択/1,078人)



●性別で見ると、男女とも第1位、第2位は同じですが、第1位の「音更町内で働ける場を増やす」は男性の方が高く、第2位の「子どもを産み育てやすいまちにする」は女性の方が高いです。「音更町内に、住宅を建てやすいようにする（宅地を増やすなど）」は男性、「年代や障がいに関わらず、住みやすいまちにする」は女性の方が高く、差がめだちます。



- 年代別で見ると、40代以下の年代は「子どもを産み育てやすいまちにする」、50代以上の年代は「音更町内で働ける場を増やす」が第1位です。また、「音更町内にある民間住宅に入居しやすくする（家賃の補助、空き家の活用など）」は29歳以下と30代で高いです。
- 住宅や入居については年代が低いほど回答が高まる傾向にある一方、誰もが住みやすいまちづくりや地域での交流、町外へのPRについては年代が高いほど回答が高まる傾向にあります。

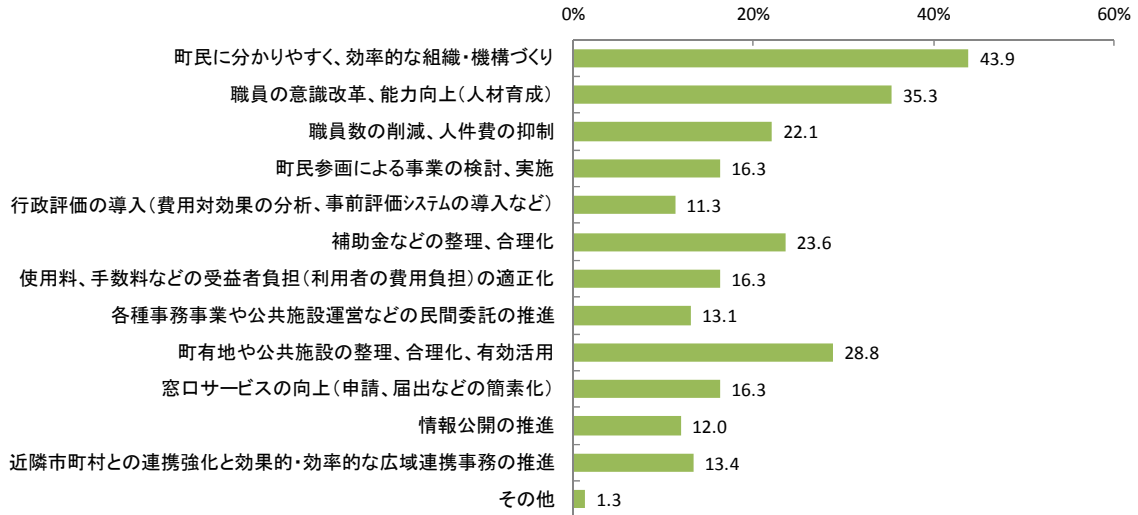


## 8 行政改革

【問 15】音更町の行政改革を進めるうえで、重点をおくべき項目は何だと思えますか。次の中から3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

○「町民に分かりやすく、効率的な組織・機構づくり」(43.9%)が最も高く、「職員の意識改革、能力向上(人材育成)」(35.3%)、「町有地や公共施設の整理、合理化、有効活用」(28.8%)が続きます。

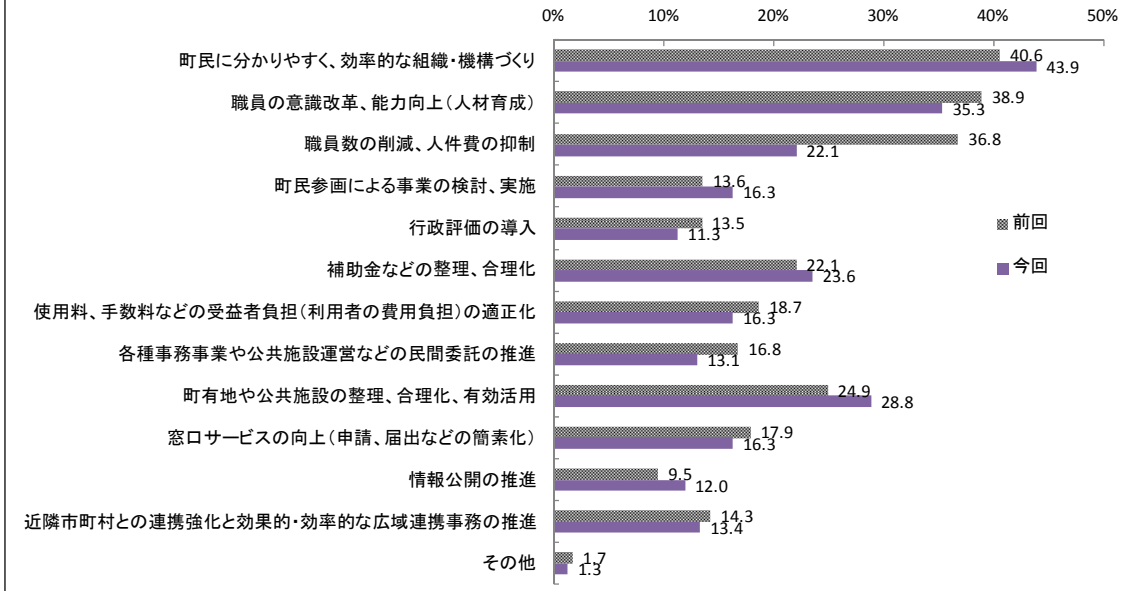
【問15】行政改革を進めるために重点をおくべきこと(3つまで選択/1,078人)



### 【前回との比較】

○上位2位は同じ項目ですが、前回第3位だった「職員数の削減、人件費の抑制」は、今回の方が低いです。今回の方が高いのは、第1位の「町民に分かりやすく、効率的な組織・機構づくり」のほか、「町民参画による事業の検討、実施」「補助金などの整理、合理化」「町有地や公共施設の整理、合理化、有効活用」「情報公開の推進」の5項目です。

【問15】行政改革を進めるために重点をおくべきこと(前回と今回の比較)





【問 16】将来にわたり持続可能な行政運営（まちづくり）を進めるために、大胆な見直しも必要です。今後、音更町の現行の制度や施設、事業の廃止など、なくしても良いと思うものがあれば、具体的にご記入ください。

※問 1 の 43 項目の区分や順番に沿って掲載しています。

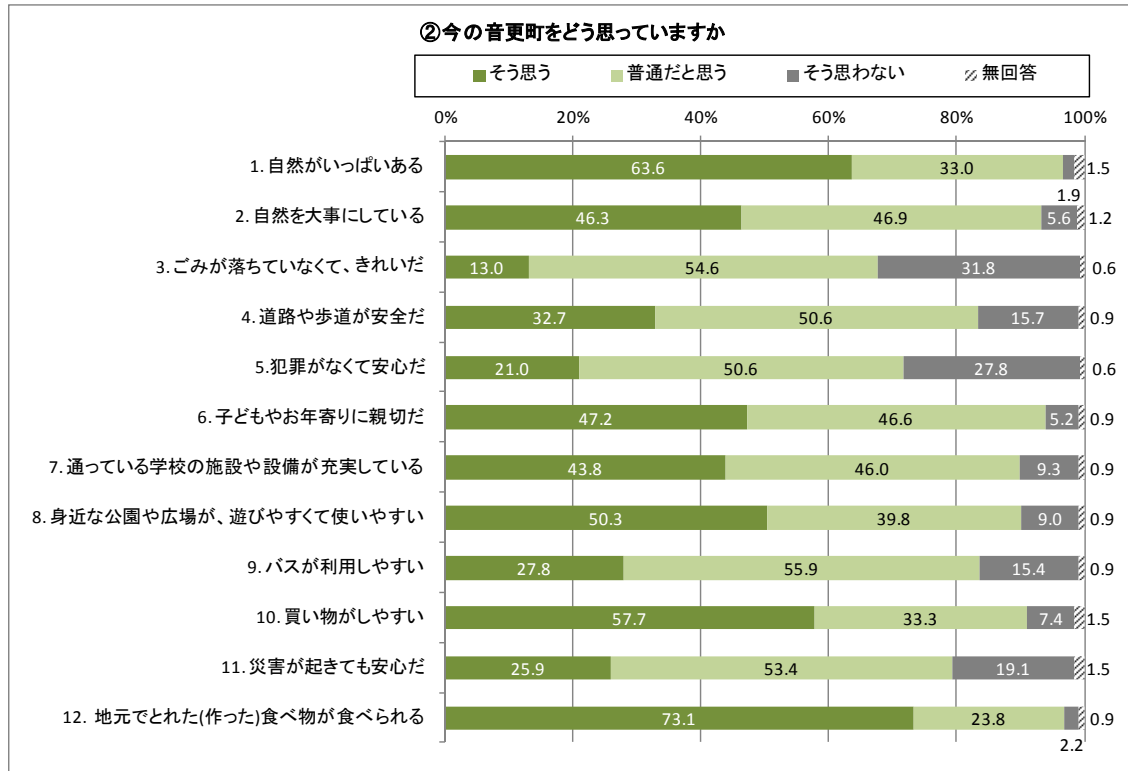
分類	見直し、廃止を求める内容（主な内容）
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園の民官移行。将来のために子供たちを大切に育ててほしい</li> <li>・ 保育所入所の基準見直し（兄弟別々では送迎が大変。増設も含めて検討を）</li> </ul>
保健施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民の健康を守るセンター（特色に欠けている。一度廃止してみたら）</li> </ul>
医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無料の歯科検診（無料分の検診では、詳しい歯の状態がわからない）</li> </ul>
高齢者支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 温泉券</li> <li>・ 1人暮らしの老人が住める寮という考え方</li> <li>・ 80才になったら写真をとってくれますが、この時代に合わない</li> </ul>
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 竹の子子ども会の活動、町内会の旅行、神社関係の町内会活動、地区の秋まつり</li> <li>・ コミュニティセンター（整理、統合を）</li> </ul>
交通安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一回も停止したことがない信号機</li> </ul>
ごみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゴミ収集の簡素化をはかる</li> </ul>
生涯学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館の月曜休館</li> </ul>
学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校の再編統合</li> <li>・ 鈴蘭小学校と木野東小学校の通学区域を変更。学校の空教室を積極的に利用</li> </ul>
スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育施設、武道館施設、陸上競技場</li> <li>・ 今話に出ているスポーツ球技場などは、今のままで充分</li> </ul>
交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際交流・都市間交流はなくしても良いと思います。必要ない事だと思うからです。使う機会がない</li> </ul>
公園、緑地など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音幌信号機の横の花壇</li> <li>・ 千畳敷公園の回りの木（白樺の木が大きく、暗い、恐い、奥が見えない）</li> <li>・ 外路の木（虫が発生、秋は沢山の木の葉が落ち大変）</li> <li>・ 誰も遊んでいない公園</li> </ul>
住宅、土地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何年も放置されている空き家や空き地</li> <li>・ 老朽化した現在の町営住宅</li> <li>・ 立派な公営住宅（民間の建物を利用）</li> </ul>
バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コミュニティバス</li> </ul>
店	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パチンコ店、車の販売、新たなガソリンスタンド</li> </ul>
観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 十勝川温泉観光協会は町役場に一本化してはどうか</li> <li>・ 道の駅</li> </ul>
行政等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健センター、役場など（有料化、場所の見直し、統合）</li> <li>・ 無意味的な除雪、ハチの巣撤去（サービスしすぎの点がある）</li> <li>・ 音更町の職員数の削減、縦割行政の廃止、残業代の削減</li> <li>・ 基本条例（H18年制定）の撤廃・再構築を視野に根本的に見直し</li> <li>・ 役場の退職者が再就職している行政法人</li> <li>・ 防災協会、交通安全協会、連合町内会、町内会等、その他団体への補助、助成</li> <li>・ 投資効果の再確認と町補助金の大胆な見直し（町予算全体について）</li> <li>・ 議員の定数の削減、町議会議員数の報酬の削減</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活保護の基準、チェックの厳格化</li> <li>・ TPP反対の垂れ幕（違う視点からの疑問や提案が否定される）</li> <li>・ なくしても良いものは特にない（4）</li> </ul>

### Ⅲ 小学生アンケートの結果

#### ② あなたは今の音更町をどう思っていますか？

○「そう思う」が最も高いのは「12. 地元の食べ物が食べられる」(73.1%)で、「1. 自然がいっぱいある」(63.6%)、「10. 買い物がしやすい」(57.7%)と続きます。

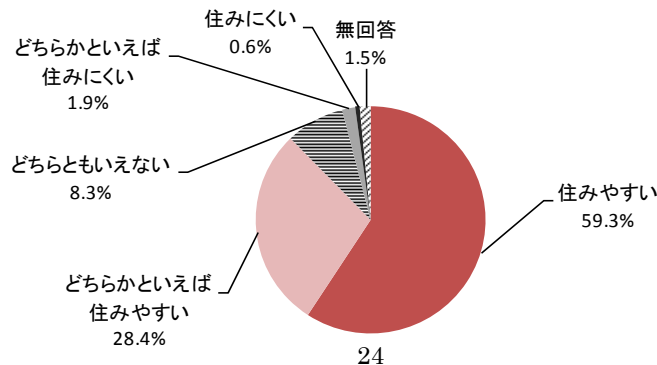
○「そう思わない」が最も高いのは「3. ごみが落ちていなくて、きれいだ」(31.8%)で、「5. 犯罪がなくて安心だ」(27.8%)が続きます。



#### ③ 音更町は住みやすいと思いますか。

○「住みやすい」が59.3%と最も高く、「どちらかといえば住みやすい」(28.4%)、「どちらともいえない」(8.3%)が続きます。「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計は87.7%で、程度の差はありますが、「住みよさ」を肯定している回答が9割近いです。「どちらかといえば住みにくい」は1.9%、「住みにくい」は0.6%です。

#### ③音更町は住みやすいと思いますか(324人)



④ 音更町の「良いところ、自慢できること」と「悪いところ、いやだなと思うこと」は、どんなことでしょうか。

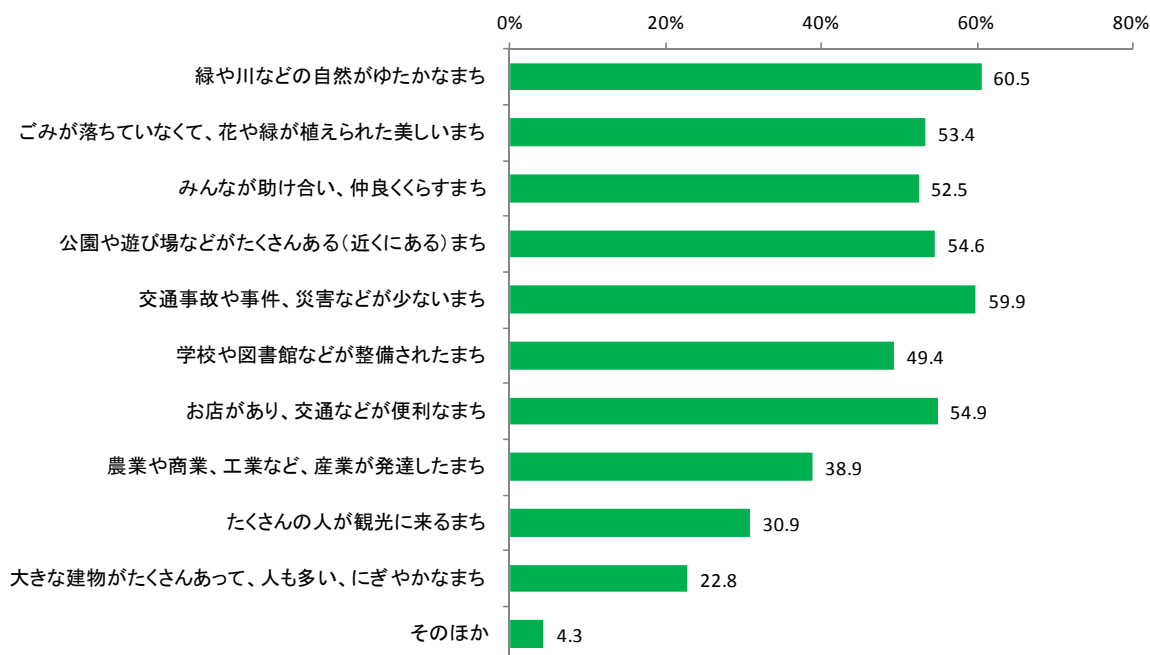
○「良いところ、自慢できること」については、自然が多い、公園が多い、野菜がおいしい、人がやさしい、あいさつが返って来るなどの回答があります。

○「悪いところ、いやだなと思うこと」については、ごみが落ちている、歩道のこと（狭い、暗い）、安全面（不審者が多い、車が多い）などの回答があります。

⑤ これからの音更町は、どのようなまちになると良いと思いますか。

○「緑や川などの自然がゆたかなまち」(60.5%)が最も高く、僅差で「交通事故や事件、災害などが少ないまち」(59.9%)が続きます。以下、「お店があり、交通などが便利なまち」(54.9%)、「公園や遊び場などがたくさんある(近くにある)まち」(54.6%)、「ごみが落ちていなくて、花や緑が植えられた美しいまち」(53.4%)、「みんなが助け合い、仲良くくらすまち」(52.5%)が続きますが、いずれも僅差です。

⑤これからの音更町はどのようなまちになると良いと思いますか(あてはまるものすべて選択/324人)

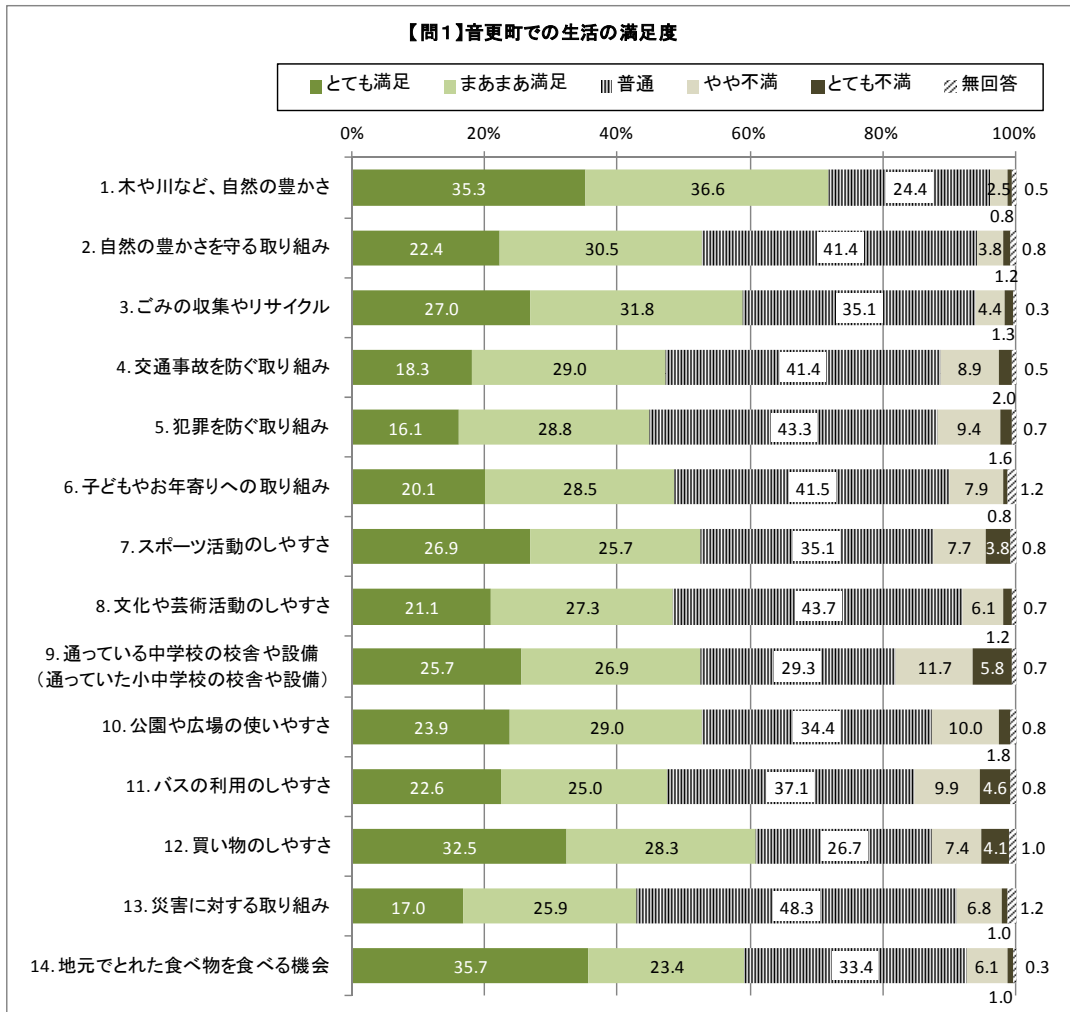


## IV 中高生アンケートの結果

### 1 生活の満足度

【問1】音更町で生活している中で、次のことについての「満足度」を、A～Eから1つだけ選んで、○をつけてください。

○「とても満足」が最も高いのが「14. 地元でとれた食べ物を食べる機会」(35.7%)で、「1. 木や川など、自然の豊かさ」(35.3%)、「12. 買い物のしやすさ」(32.5%)が続きます。

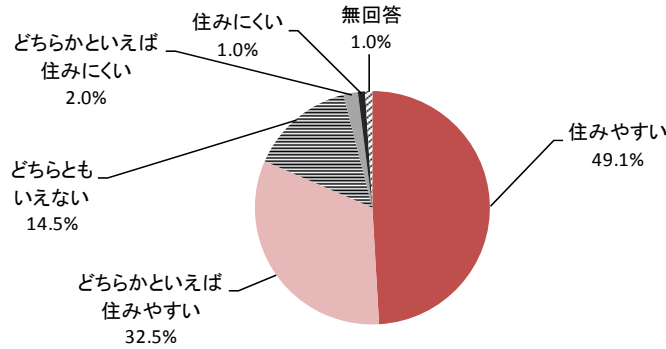


## 2 住み良さ

### 【問2】音更町の住みやすさはどうですか。

○「住みやすい」が49.1%と最も高く、「どちらかといえば住みやすい」(32.5%)、「どちらともいえない」(14.5%)が続きます。「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計は81.6%で、程度の差はありますが、“住みよさ”を肯定している回答が8割をこえます。「どちらかといえば住みにくい」は2.0%、「住みにくい」は1.0%です。

【問2】音更町の住みやすさ(607人)



#### <具体的な理由>

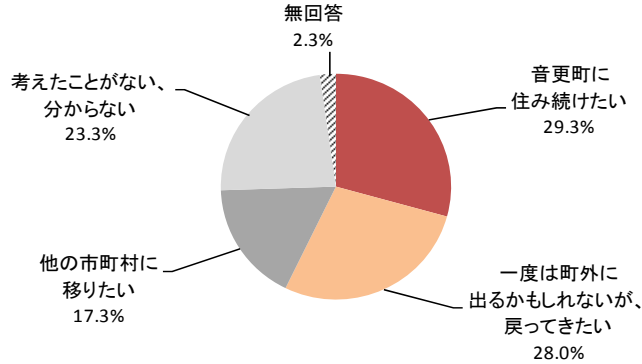
「1. 住みやすい」 「2. どちらかといえば住みやすい」	「3. どちらかともいえない」	「4. どちらかといえば住みにくい」 「5. 住みにくい」
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然豊か、自然（緑）が多い</li> <li>・空気がきれい</li> <li>・静かですみやすい</li> <li>・町がキレイ</li> <li>・事故や事件等が比較的少ない</li> <li>・自然豊かで買い物も便利</li> <li>・田舎すぎず都会すぎず</li> <li>・お店が近くて便利、買い物しやすい</li> <li>・店が多い、いろいろな店がある</li> <li>・公園がたくさんある・近い</li> <li>・みんながやさしい</li> <li>・食べ物がおいしい</li> </ul> <p>(「2. どちらかといえば住みやすい」での回答として)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・坂がある</li> <li>・バス停が遠くて不便</li> <li>・道路が狭い、渋滞している</li> <li>・外灯が少ない</li> <li>・場所によっては店がない・遠い</li> <li>・なにもないから</li> <li>・もっと可能性を感じるから</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然豊かで良いが、まだゴミが落ちている所が多いから</li> <li>・水道料が高い</li> <li>・雑草が多いから</li> <li>・ごみが落ちてなければ住みやすい</li> <li>・住みやすいけど、道路ボコボコ</li> <li>・普通に住めてはいるが環境や安全に不満がある</li> <li>・バス停が遠い、高校に通いにくい</li> <li>・店が少ない、店が近くにない</li> <li>・店がかたよっている</li> <li>・あそぶ場所がない</li> <li>・良い点も悪い点もあるから</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通が不便</li> <li>・バスの本数が少ない</li> <li>・道路の渋滞</li> <li>・坂が多い</li> <li>・除雪がおそい、雪捨場が少ない</li> <li>・治安が良くない</li> <li>・お店が少ない、買い物に不便</li> <li>・遊ぶ場があまりない</li> </ul>

### 3 定住意向

【問3】これからも、音更町に住みつづけたいと思いますか。

- 「音更町に住み続けたい」(29.3%)が最も高く、「一度は町外に出るかもしれないが、戻ってきたい」(28.0%)が僅差で続きます。以下、「考えたことがない、分からない」(23.3%)、「他の市町村に移りたい」(17.3%)です。
- 「音更町に住み続けたい」と「一度は町外に出るかもしれないが、戻ってきたい」を合計すると57.3%で、Uターン希望も含め、約6割が定住意向を持っています。

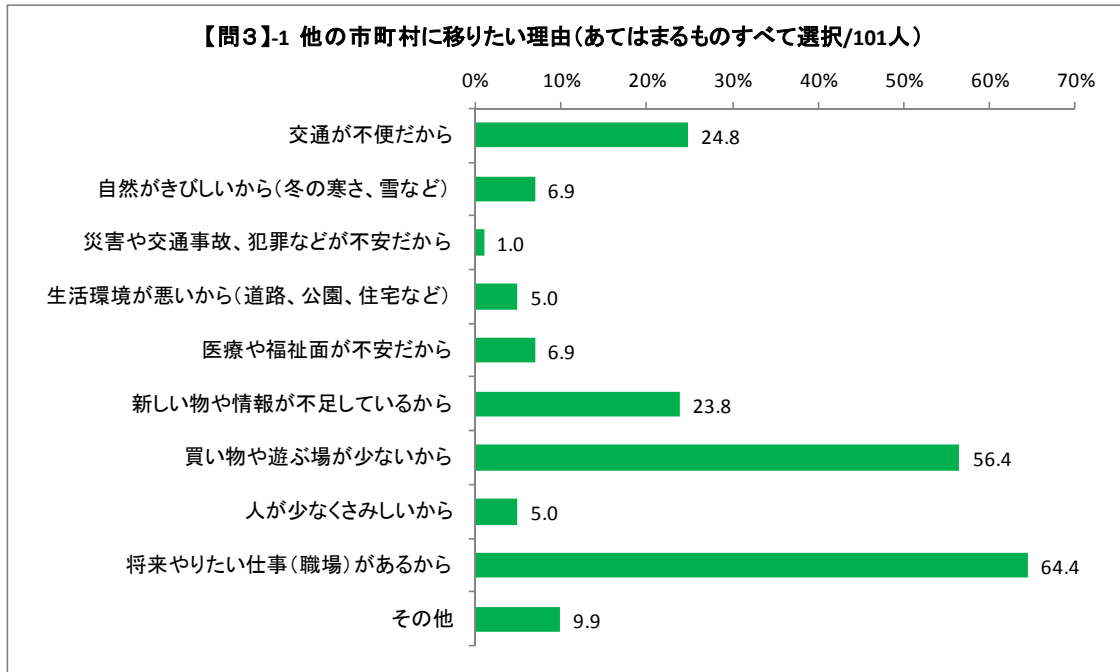
【問3】音更町への定住意向(533人)



#### 3-1 町外に移りたい理由

「3. 他の市町村に移りたい」を選んだ方は、その理由を教えてください。

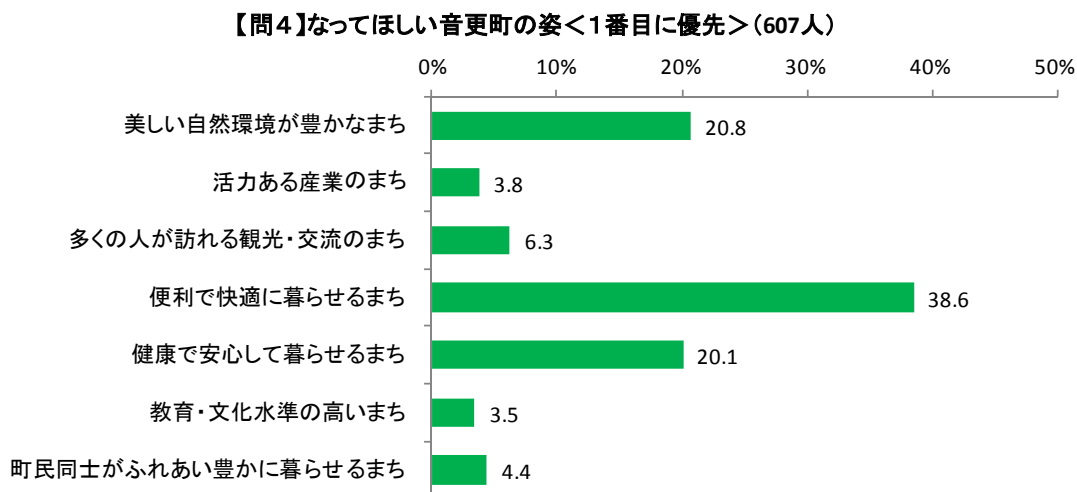
- 「将来やりたい仕事(職場)があるから」(64.4%)が最も高く、「買い物や遊ぶ場が少ないから」(56.4%)が続きます。



#### 4 なってほしい音更町のこれからの姿

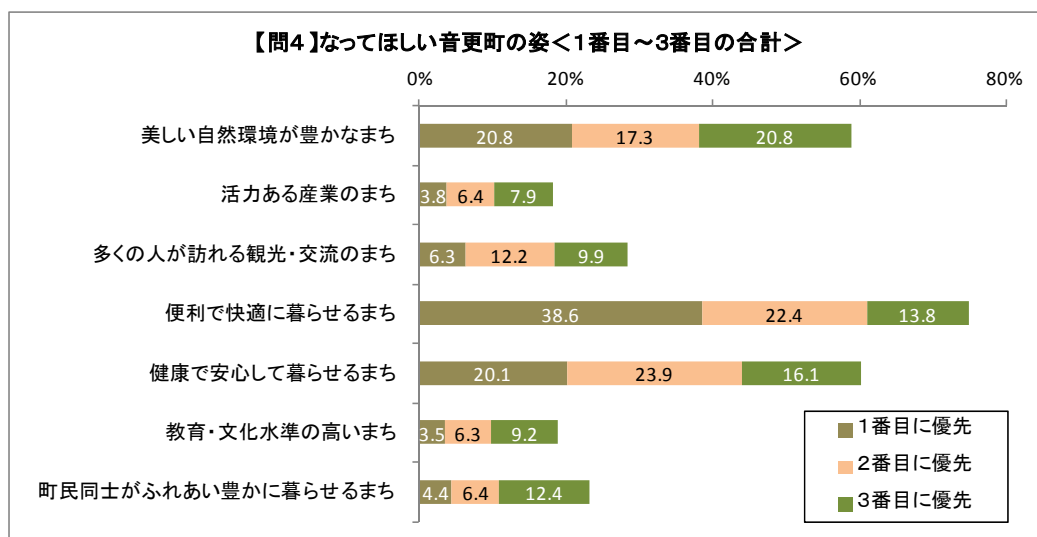
【問4】 これからの音更町はどのような姿になってほしいですか。（優先すべき順番で3つまで）

- 「便利で快適に暮らせるまち」（38.6%）が最も高く、「美しい自然環境が豊かなまち」（20.8%）が続きます。



- 1番目から3番目までを合計した回答率で比較すると「便利で快適に暮らせるまち」が第1位で、「健康で安心して暮らせるまち」が第2位、「美しい自然環境が豊かなまち」が第3位です。

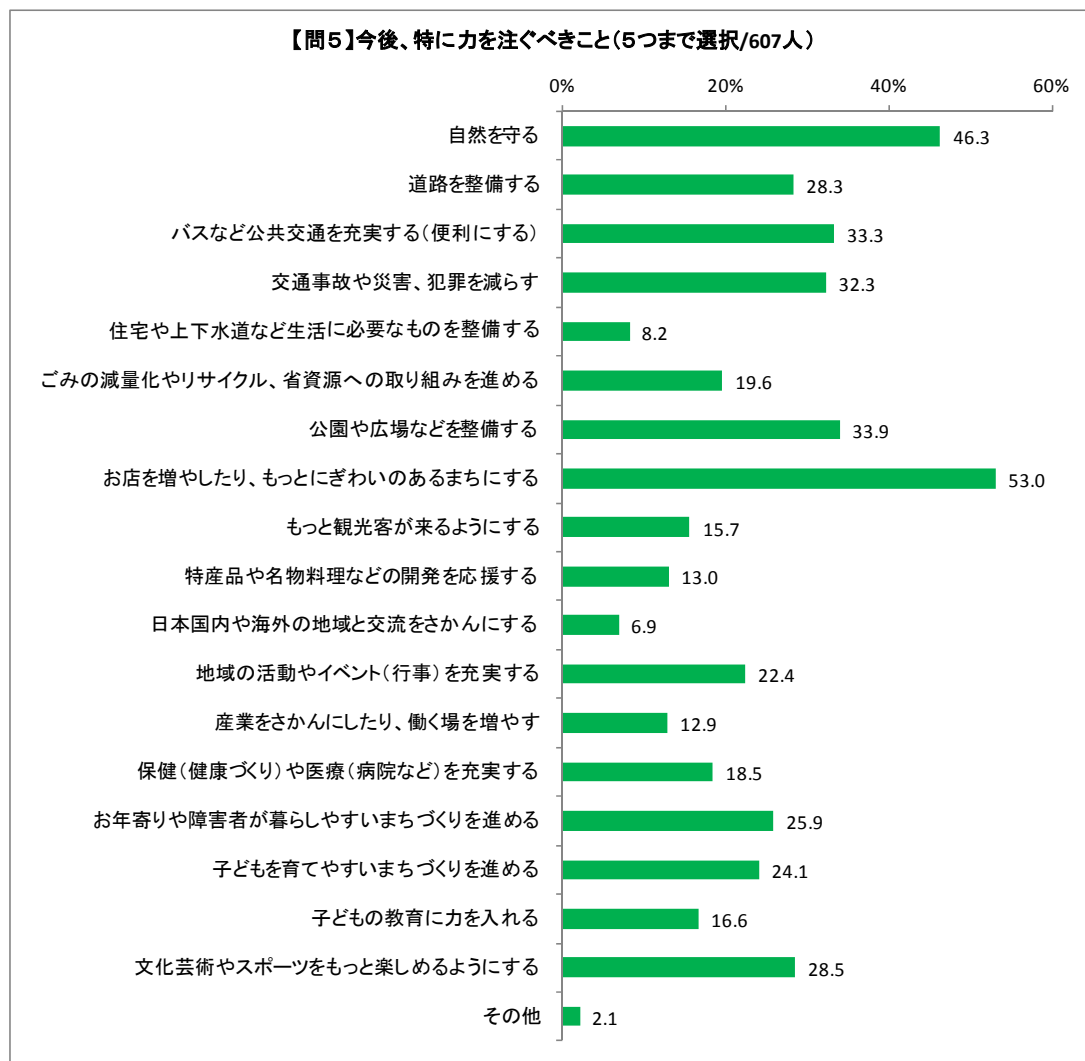
- 「健康で安心して暮らせるまち」の合計と「美しい自然環境が豊かなまち」の合計は、ほぼ同率です。



## 5 特に力を注ぐべき取り組み

【問5】今後、音更町は、特にどのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。

○「お店を増やしたり、もっとにぎわいのあるまちにする」(53.0%)が最も高く、「自然を守る」(46.3%)が続きます。やや間をあけて、「公園や広場などを整備する」(33.9%)、「バスなど公共交通を充実する(便利にする)」(33.3%)、「交通事故や災害、犯罪を減らす」(32.3%)と続きます。



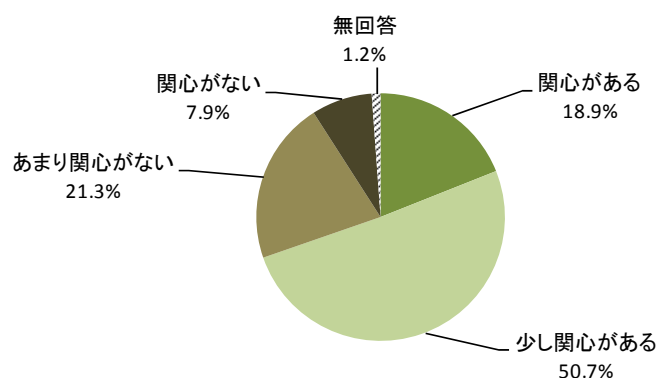


## 6 まちづくりや地域活動への関心

【問6】まちづくりや自分が住んでいる地域の活動などに関心がありますか。

- 「少し関心がある」が 50.7%と最も高く、「あまり関心がない」(21.3%)が続きます。「関心がある」と「少し関心がある」の合計は 69.6%で、程度の差はありますが、関心を持っている割合は約7割を占めます。

【問6】まちづくりや地域活動への関心(607人)

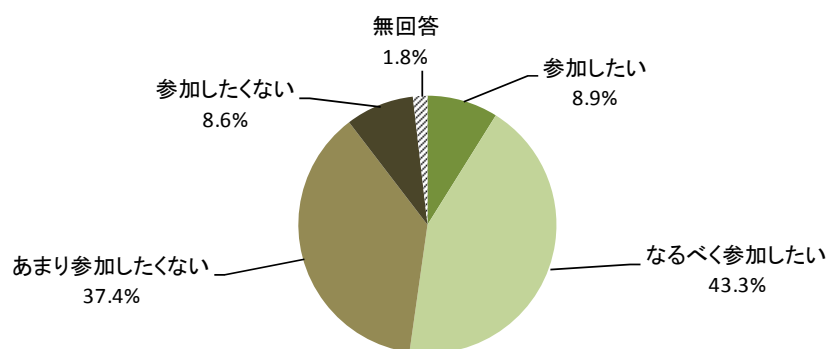


## 7 身近な地域活動やボランティアへの参加意向

【問7】今後、機会があれば、地域の行事や福祉、自然保護、清掃など、身近な地域活動やボランティアに参加したいと思いますか。

- 「なるべく参加したい」(43.3%)が最も高く、「あまり参加したくない」(37.4%)が続きます。「参加したい」と「なるべく参加したい」の合計は 52.2%で、程度の差はありますが、約半数は参加の意向を持っています。

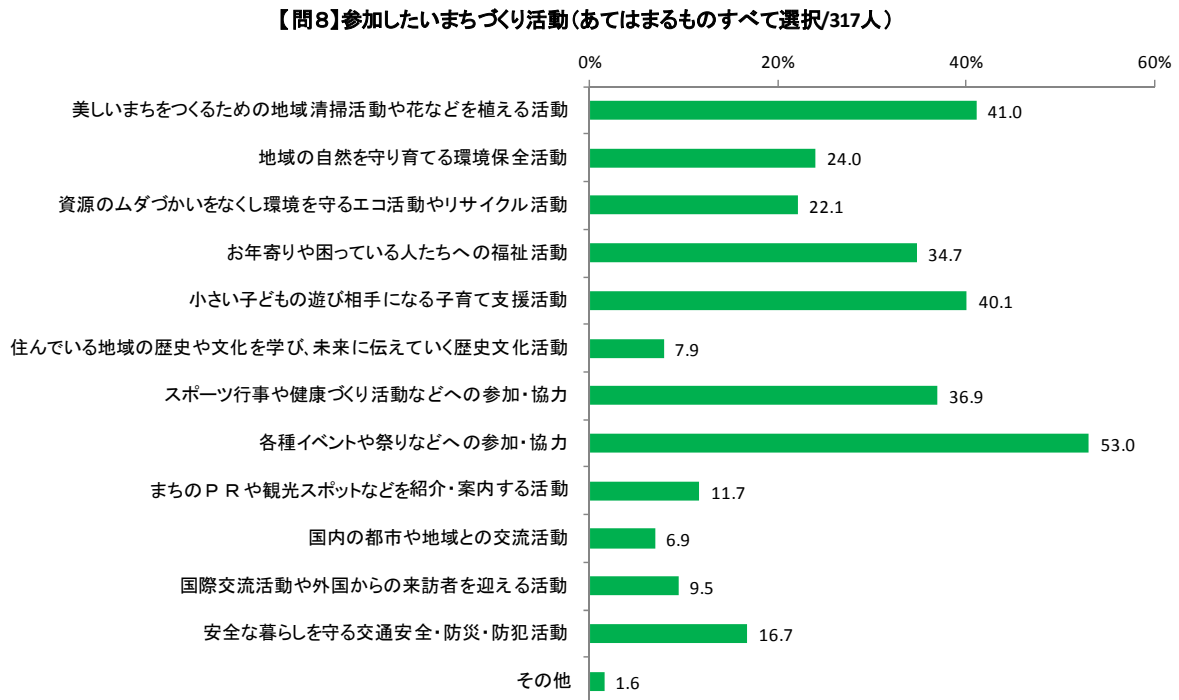
【問7】地域活動やボランティアへの参加意向(607人)



## 8 参加したい（できる）活動

【問8】前問（問7）で、1 または2に○をつけた方におたずねします。どのような活動に参加したい（でき）ますか。

○「各種イベントや祭りなどへの参加・協力」（53.0%）が最も高く、やや間をあけて、「美しいまちをつくるための地域清掃活動や花などを植える活動」（41.0%）、「小さい子どもの遊び相手になる子育て支援活動」（40.1%）、「スポーツ行事や健康づくり活動などへの参加・協力」（36.9%）、「お年寄りや困っている人たちへの福祉活動」（34.7%）と続きます。



## 9 音更町の「良いところ」と「悪いところ」

【問9】音更町の「良いところ・自慢できるところ」と「悪いところ・良くなってほしいところ」は、どんなことでしょうか。

<良いところ・自慢できるところ>

○自然の豊かさや買い物環境の良さ、食べ物の良さ（美味しさ）などに関する記載が特に多いです。

○学校については、給食が美味しいとの声が多いです。

<悪いところ・良くなってほしいところ>

○店や遊び場が少ない・遠いなどのほか、ごみの多さ、交通安全や治安などの安全面への不安などあげている記載が多いです。

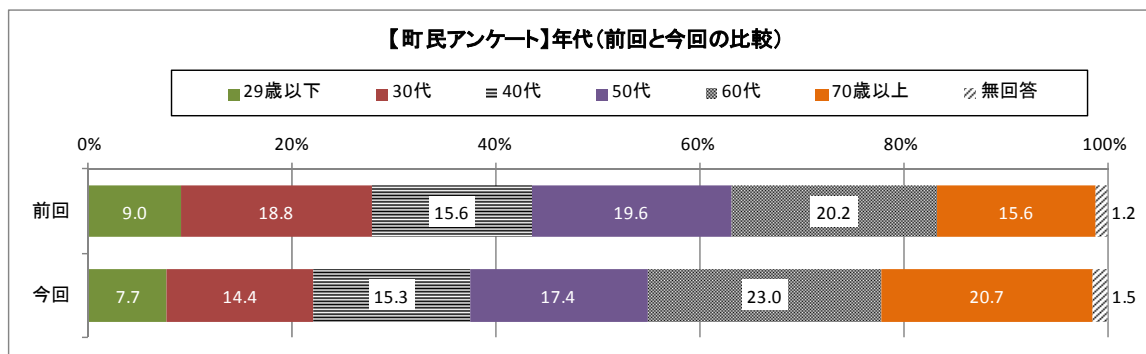
## IV 各調査結果からの考察

### 1 分野ごとの満足度・重要度

#### 満足度は、前回よりも向上。背景には回答者の高齢化も

5年前の前回と同様に、音更町での暮らしについて分野ごとに評価をしてもらった結果、43項目中、4項目以外は数値が上がりました。

要因としては、今回の回答者の年代構成が、前回に比べて60代や70歳以上の割合が高く、高齢化しているため、比較的评价が高めに出ていることが影響していると考えられます。



#### 今回下がった項目は若い世代の関心が高い項目。世代による評価の違いにも留意が必要

今回、数値が下がった4項目は、「3. 病院・診療所などの医療環境」「24. スポーツ施設の充実」「26. 国際交流・都市間交流」「27. 公園や緑地の整備・管理」であり、若い世代や子育て世代で関心が高い項目です。全体をみると、満足度が高まっていることを肯定的に捉えながらも、若い世代の満足度については今後もニーズを把握し、取り組んでことが重要と思われれます。

#### 不満が高い「除排雪」、満足が高い「買い物環境」でも、地域での評価には差が

「不満」の回答が1割をこえたのは「30. 道路や歩道の除排雪」と「40. 働く場の確保」(同率で10.2%)ですが、「40. 働く場の確保」は、「満足」と「やや満足」の合計が1割以下であるのに対して、「30. 道路や歩道の除排雪」は、「満足」と「やや満足」の合計が約3割を占めており、評価が分散していることが伺えます。

また、「買い物環境」は前回と同様に満足度が高い結果となりました。各種アンケートの自由記載にも買い物環境の意見が多くありましたが、満足であるという意見がある一方、地域による利便性の差を指摘する声が多くありませんでした。全体では「買い物環境＝高い」「除雪＝低い」と捉えられがちですが、地域によって評価の差があることに留意することが必要です。

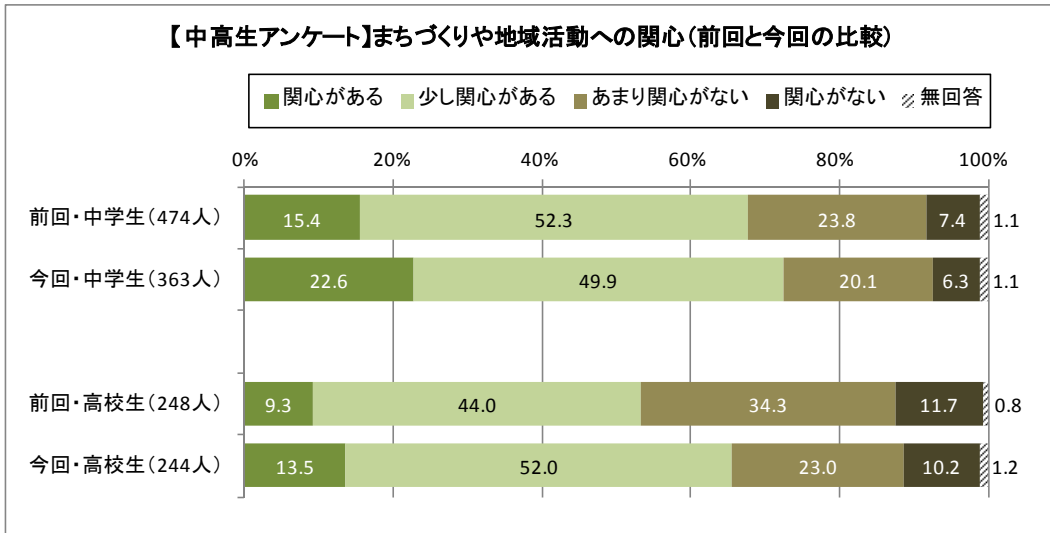
#### 「医療」「子育て支援」は高齢化に関わらず重視

「重要」が高いのは「1. 子育ての環境や支援」「3. 病院・診療所などの医療環境」「30. 道路や歩道の除排雪」「40. 働く場の確保」などです。回答者が高齢化する中でも、医療環境と並んで子育て支援が高いということは、年代を問わず、重視されていることが伺えます。

### コミュニティ活動への関心の低さが伺えるものの、子どもの関心は高まっている

一方、回答率は低いものの「重要ではない」が最も高いのは「9. 町内会活動などのコミュニティ活動」です（加重平均値では「芸術文化施設」が最低値）。町民アンケートで「音更町の現行の制度や施設、事業の廃止など、なくしても良いと思うもの」を尋ねたところ、コミュニティセンターやコミュニティ活動に関連する記載が他の内容よりも多く、コミュニティ活動に関心が低い町民が少なくはないことが伺えます。

しかし、「9. 町内会活動などのコミュニティ活動」の重要度（加重平均値）は、前回よりも高く、中高生アンケートでまちづくりや地域活動への関心を尋ねた設問では、前回よりも今回のほうが「関心がある」が高いです。子育て支援や高齢者の見守りなど、地域での支え合いがますます重視される中、その基盤となるコミュニティ活動への関心を高めたり、より一層活性化していくことが必要と思われる。



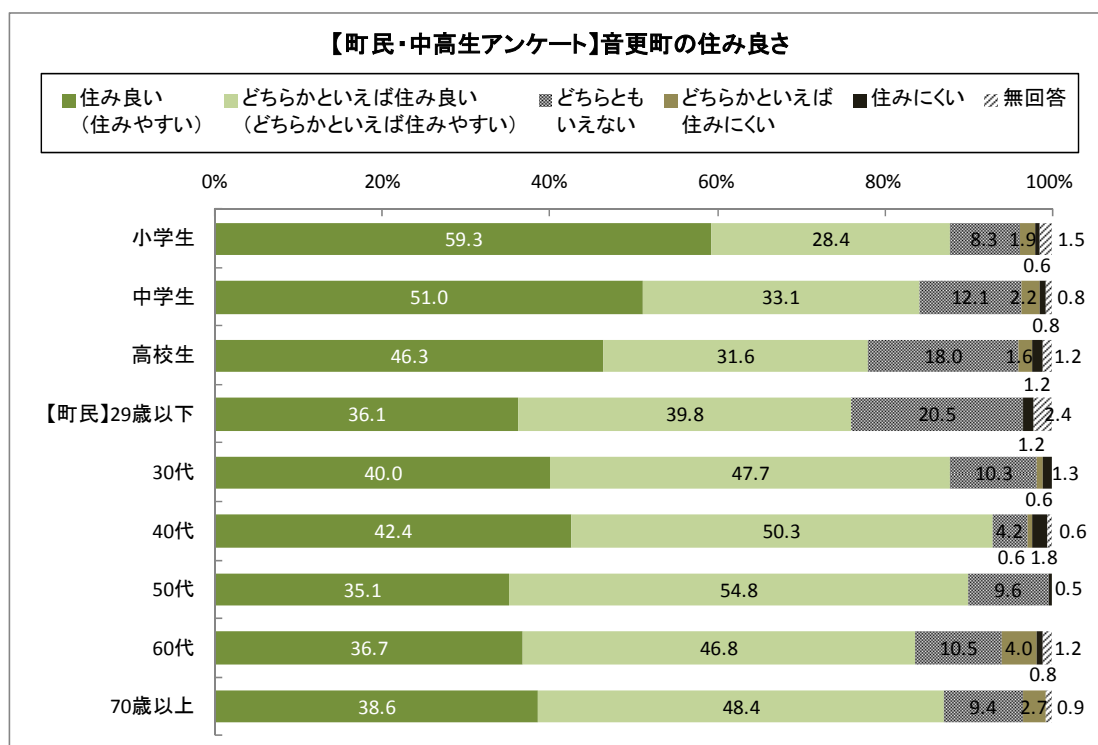
### <加重平均値での比較(前回と今回)>

順位	満足度		重要度	
	前回	今回	前回	今回
ベスト	1	買い物環境	医療環境	医療環境
	2	ごみ・リサイクル	ごみ・リサイクル	働く場
	3	医療環境	医療環境	子育て環境や支援
	4	公園や緑地	消防・救急体制	子育て環境や支援
	5	上下水道	健康づくりや病気予防	除排雪
...	...	...	...	
ワースト	5	企業誘致や支援	道路、中心市街地(同率)	コミュニティ活動
	4	バスの利用	バスの利用	芸術文化活動
	3	中心市街地	除排雪 (同率)	文化財・史跡
	2	観光	観光	芸術文化施設
	1	働く場	働く場	国際・都市間交流

## 2 住み良さ

「住み良い」は、年代が低いほど高く、「どちらともいえない」は、年代が高まるにつれて高まる

小学生から町民まで年代別に比較すると、「住み良い」が最も高いのは「小学生」で、29歳以下までは徐々に低くなります。一方、「どちらともいえない」は小学生から29歳以下までの間では、徐々に高まります。

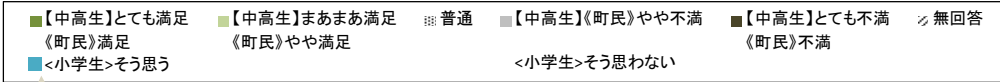


### 小学生や中高生の満足度の要因は、自然環境や食べ物、自然とのバランスなど

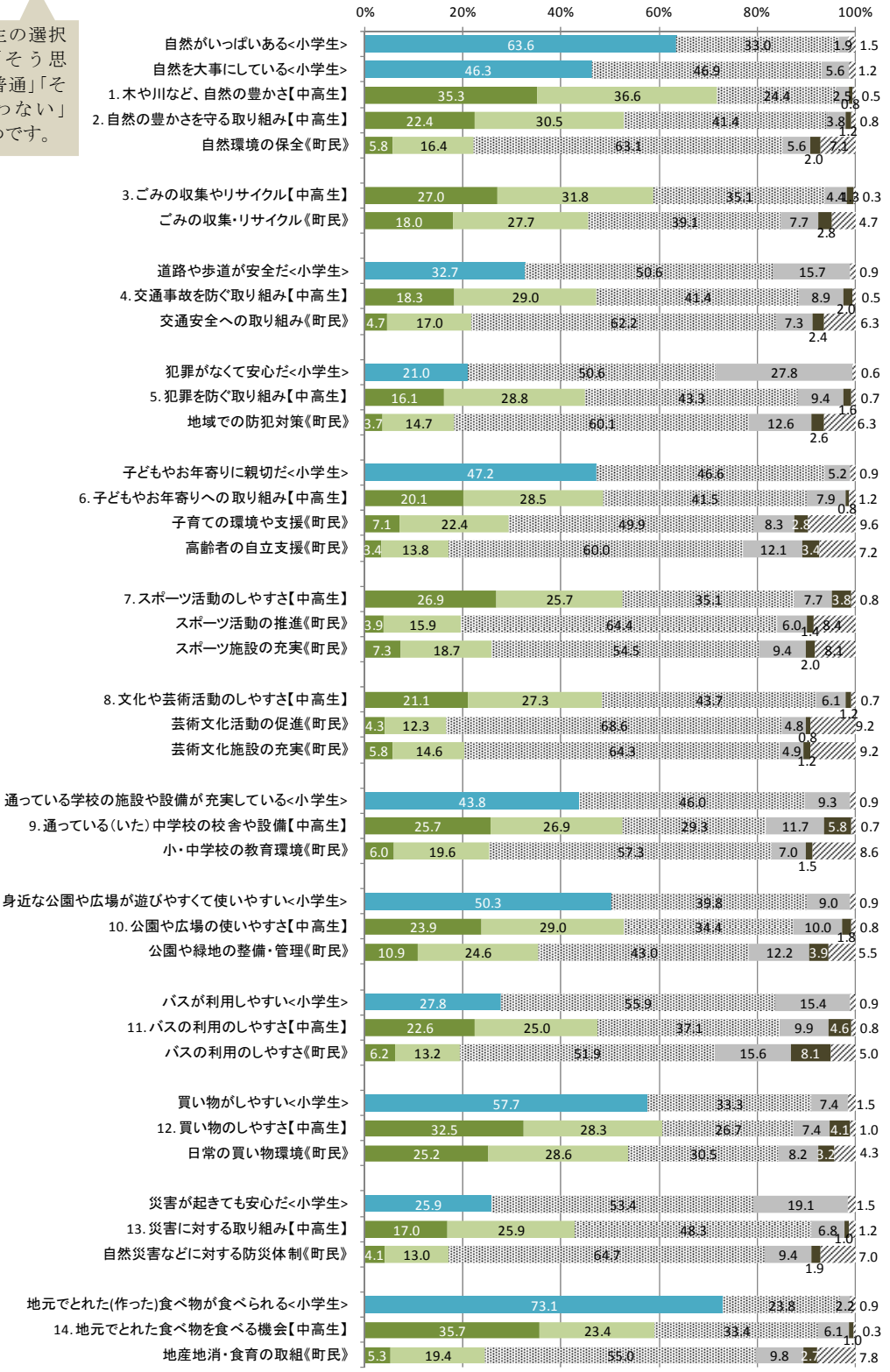
小学生や中高生の生活の満足度を町民と比較してみると、自然環境や地元産を食べる機会（地産地消・食育）などで小学生や中高生の評価が町民より高くなっています。また、小学生や中高生の自由記載には、自然の豊かさや買い物環境の良さ、また、そのバランス（自然もあるが店もある）、食べ物のおいしさなどを評価する声が多く、それらが住み良さにつながっていると思われます。

一方、小学生は「3. ごみが落ちていなくて、きれいだ」や「5. 犯罪がなくて安心だ」で「そう思わない」の回答が他に比べて高いなど、ごみや治安に対する不満が高く、自由記載にもごみのポイ捨てや治安の悪さ（不審者がいる、道の暗さなど）を悪い点としてあげています。

【町民・小学生・中学生アンケート】生活の満足度



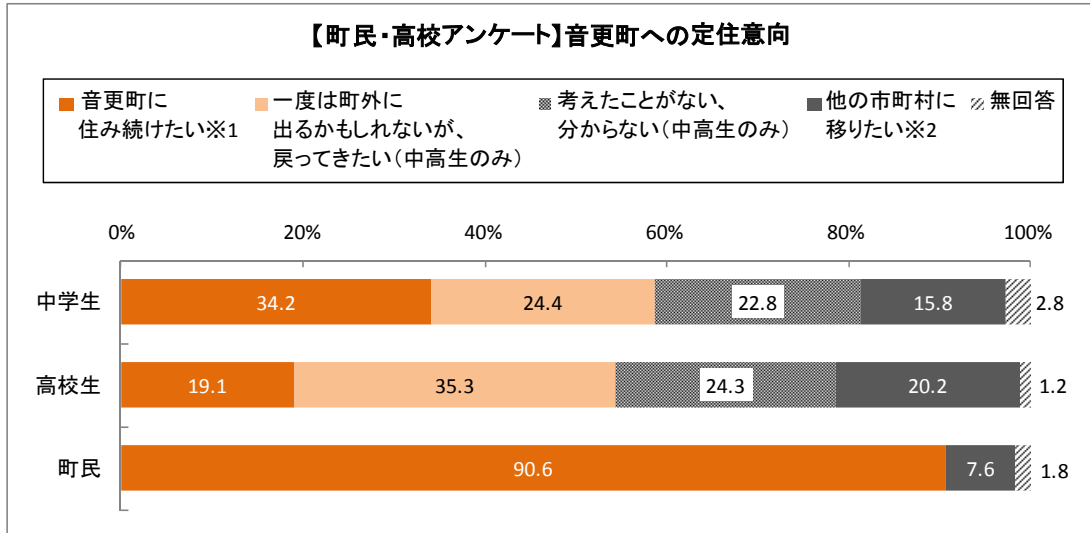
小学生の選択肢は「思う」「普通」「そう思う」の3つです。



### 3 定住意向

#### 定住意向は町民の方が高い

中学生と町民で住み良さに比べると、中学生は「他の市町村に移りたい」が町民よりも高く、定住の意向は町民の方が高いです。また、中学生アンケートでは「考えたことがない、分からない」という選択肢を設けましたが、その割合も2割以上占めます。



※1：町民は「今の場所に住み続けたい」「町内の別の場所に移りたい」を合計。

※2：町民は「近くの市や町村に移りたい」「道内のどこかへ移りたい」「道外に移りたい」を合計。

#### 町民と中学生が共通する、町外へ移りたい理由は「買い物」「娯楽」「交通」など。中学生は希望する「職場」が町外であることも

町外に移りたい理由については、町民・中学生ともに買い物環境や娯楽の場、交通への不満などがあげられていますが、中学生は働く場（町外に職場がある）も上位にあげられています。

#### <町外に移りたい理由>

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
中学生	買い物や遊ぶ場が少ないから	将来やりたい仕事（職場）があるから	新しい物や情報が不足しているから	交通が不便だから	自然がきびしいから（冬の寒さ、雪など）
高校生	将来やりたい仕事（職場）があるから	買い物や遊ぶ場が少ないから	交通が不便だから	新しい物や情報が不足しているから	その他
町民	交通が不便だから	買い物や娯楽などの場が少なく、不便だから	医療や福祉面が不安だから	余暇や生きがいを楽しむ場や機会が少ないから	自然条件が厳しいから（冬の寒さ、雪など）

## 4 産業

### 基幹産業である農業振興を重視しつつも、観光への期待が高まりつつある

町民アンケートで重視する産業振興について尋ねると、前回と同様、「農業の振興」が重視されていますが、前回と比較すると、「観光・交流関連産業の振興」が高く、農業振興策の中でも「観光・体験型農林業の育成」が前回より高いです。

暮らしの満足度評価でも「観光地としての魅力づくり」は働く場に次いで満足度が低く、町の基幹産業である農業と結びつけた観光振興を望む声が高まっていると思われます。

### 地産地消は評価が出ており、今後も推進が期待されている

前述のとおり、「地元でとれた(作った)食べ物が食べられる」ことについて、小学生や中高生の評価は高く、自由記載にも給食のおいしさがあげられていることなどから、地産地消・食育の取り組みは成果が出ていると思われます。

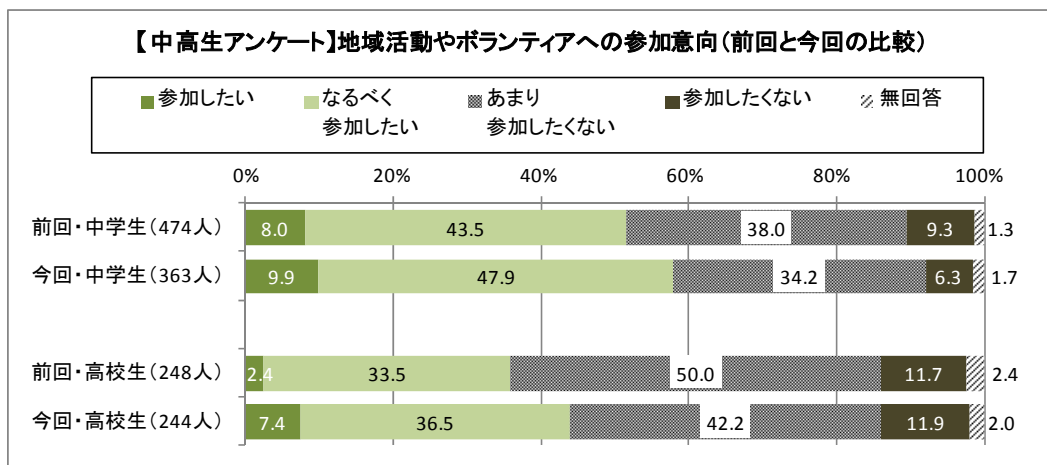
また、町民アンケートでも、農業との関わりを深めるためにしたい(できる)こととして、「できるかぎり地元の農産物を食べたい」「地元の農産物を贈答品などで利用したり、町外にPRしたい」が前回と同様に高く、引き続き、関心を持って地産地消や食育に協力していこうという意識が表れています。

## 5 まちづくりへの関心や参加

### 中高生のまちづくり参加意欲は高まっている

町民アンケートで行政運営(まちづくり)や町民参加について尋ねると、「そう思う」「やや思う」という肯定的な回答が過半数をこえているのは「1) 行政活動に関心がある」のみで、その回答率も前回より低く、全体的に関心が低くなっていることが伺えます。

しかし、前述のとおり、中高生アンケートでまちづくりや地域活動への関心を尋ねた設問では、前回よりも今回の方が「関心がある」が高く、また、地域活動やボランティア活動への参加意向も、今回の方が「関心がある」が高いです。「あまり参加したくない」も高い状況は前回と同じですが、中高生が参加できるまちづくり活動を増やしていくことも重要と思われます。



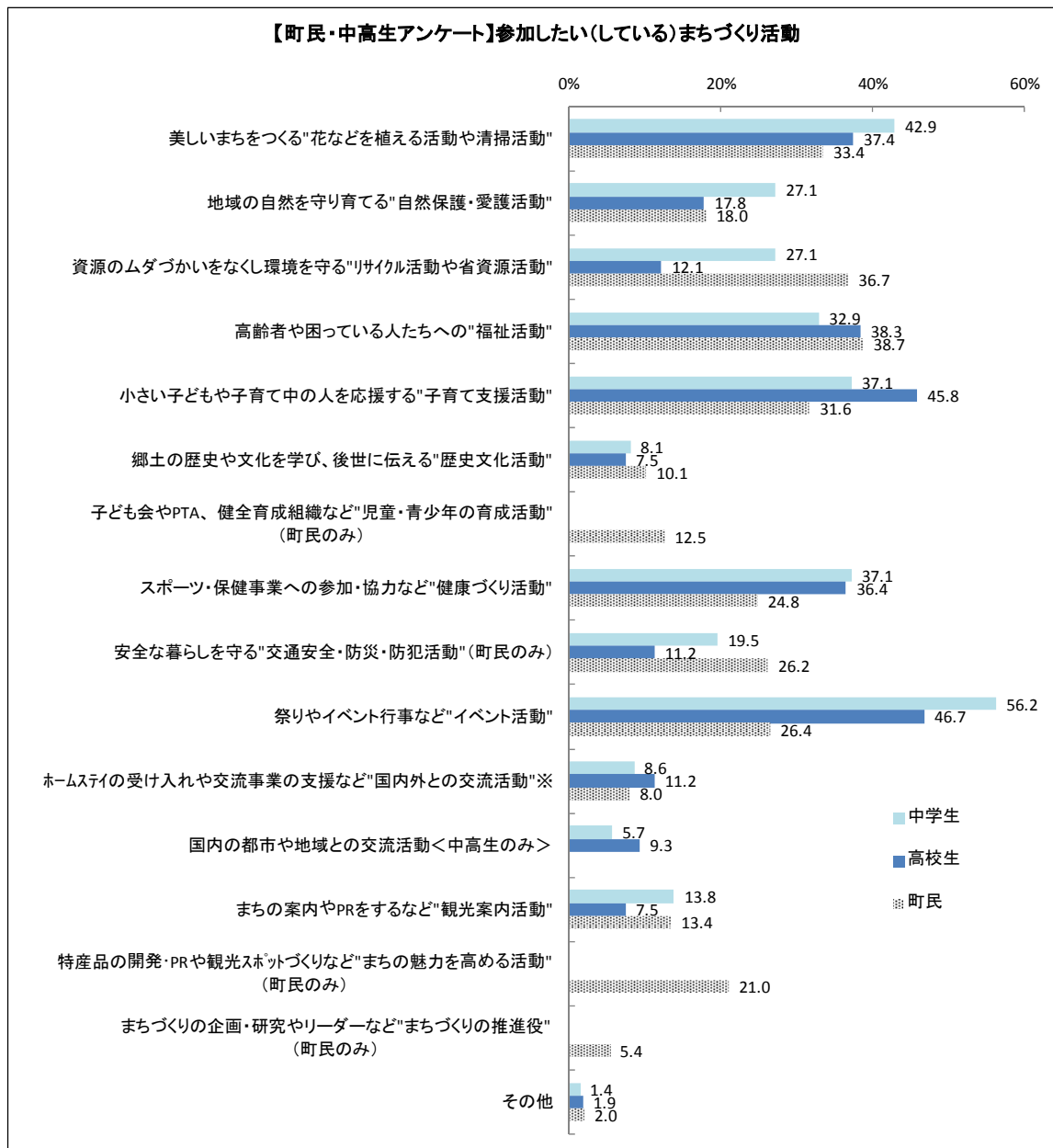


## 子育て支援活動や健康づくり活動、イベント活動などを機に中高生の参加拡大を

参加したいまちづくりについて、町民アンケートで前回と今回を比較すると、前回より高いのはイベント活動と観光案内活動の2項目のみで、参加意向の低下が伺えます。

しかし、町民と中高生で比較すると、中高生は、子育て支援活動や健康づくり活動、イベント活動などで町民より高く、関心や参加意向が高いことが伺えます。

町民で高まりつつあり、中高生でも参加意向の高いイベント活動など、中高生の関心が高い分野で参加できる機会を増やし、まちづくり活動を若年層から活性化していくことが効果的であると思われます。



※中高生は「国際交流活動や外国からの来訪者を迎える活動」という選択肢です。

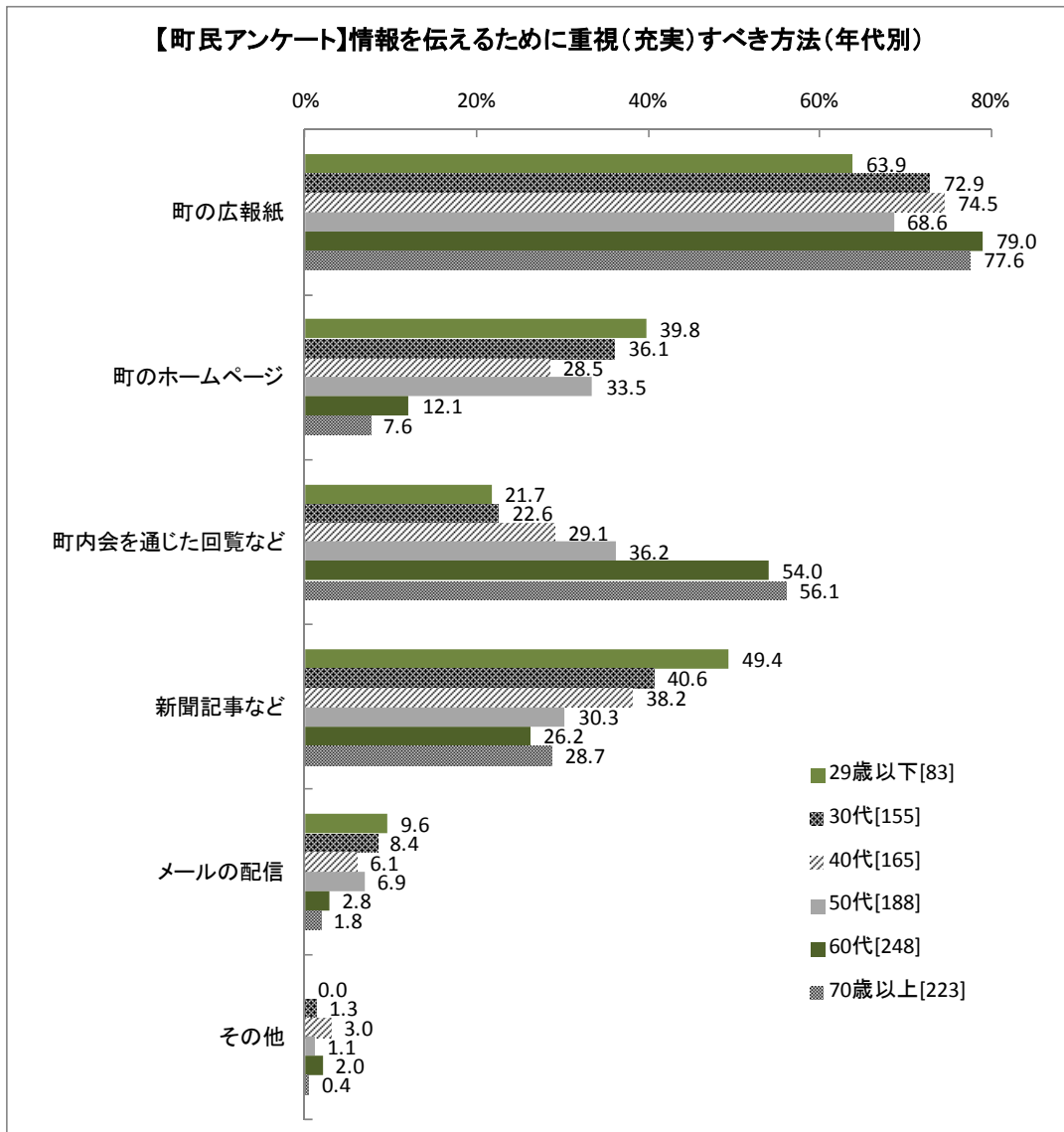
## 6 広報、情報提供

### 広報とともにホームページの活用も期待。ただし年代別の広報手段の配慮が必要

町民アンケートで町民協働のまちづくりに重要なことを尋ねると、「まちづくりに関する情報（行政からの情報・町民が持つ情報）を共有する」が前回よりも高く、協働の前提として「情報の共有」が求められています。

また、情報を伝えるために重視（充実）すべき方法として、前回に比べて「町の広報紙」が低くなり、「町のホームページ」が高くなっています。回答者が高齢化する中でもホームページの重要性は高まっており、今後も充実が求められていると思われます。

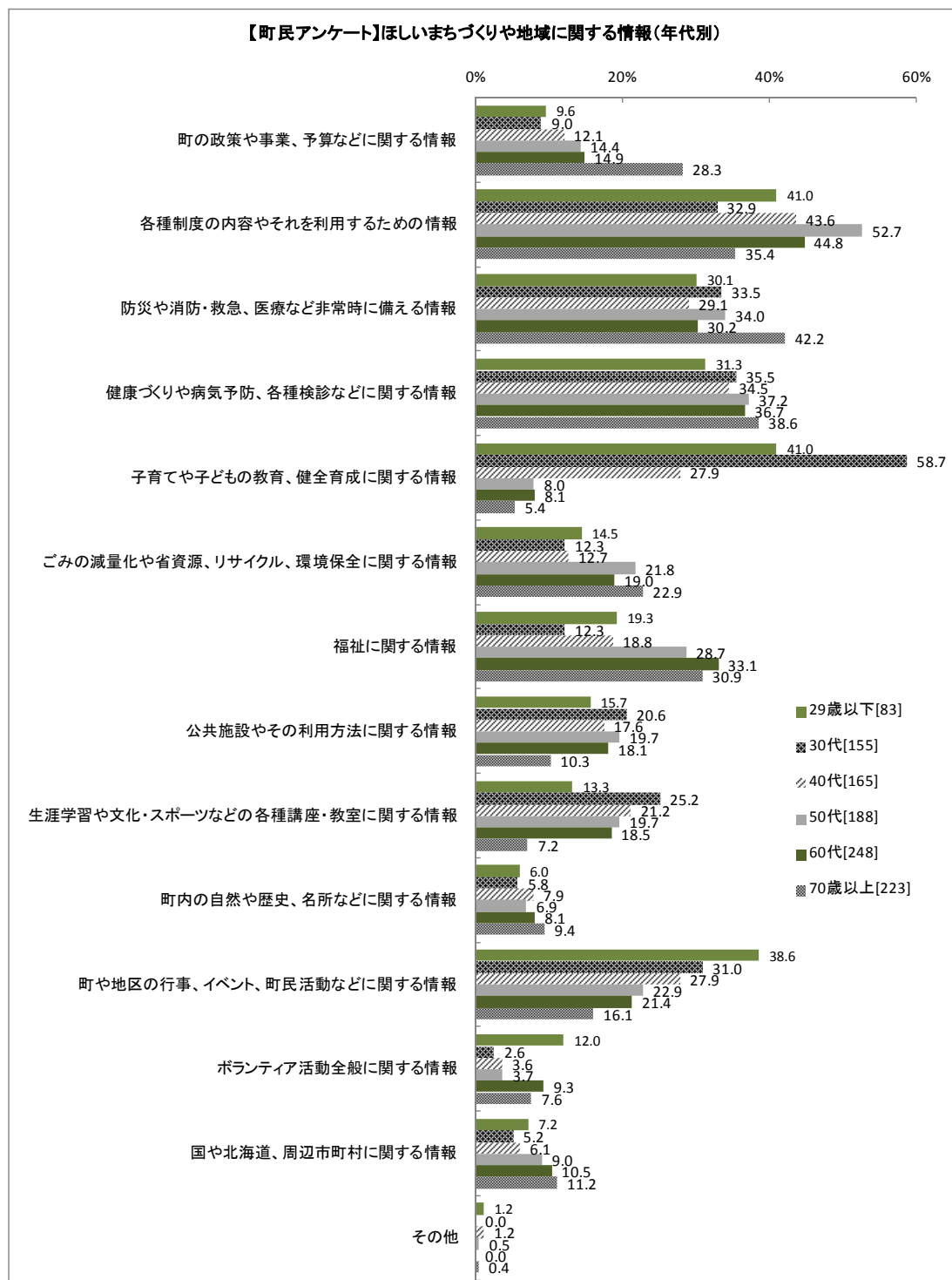
ただし、60代や70歳以上では「ホームページを見ることができない」回答者は約半数おり、回覧の方が重視されていること、若い世代でも、ホームページのほか新聞記事の充実を求める声も高いなど、年代による意向・ニーズの違いをふまえて広報、情報提供を行うことが求められています。



## 若い世代は「町や地区の行事、イベント、町民活動などに関する情報」を求めている

町民アンケートでほしい情報について尋ねると、「各種制度」「健康づくりや検診の情報」「防災や消防・救急、医療など非常時に備える情報」が上位で、前回も同様の回答傾向でした。

一方、「町や地区の行事、イベント、町民活動などに関する情報」は今回の方が高く、年代別で見ると、年代が若いほどニーズが高いことが分かります。



## 7 移住・定住

**年代によって重視する促進策に差が。対象や考え方などを設定する際にも意向の違いを参考に**

町民アンケートの自由記載には、移住・定住を促進する対象として（今住んでいる）若い世代を重視すべきという声が多くありましたが、福祉を充実させ年代を問わず町外からの移住を促進すべきという意見もありました。

また、移住・定住の促進策としては、「音更町内で働ける場を増やす」と「子どもを産み育てやすいまちにする」が高いですが、年代別に第1位をみると、40代以下の年代は「子どもを産み育てやすいまちにする」、50代以上の年代は「音更町内で働ける場を増やす」であり、年代の高さで傾向が分かれています。

移住・定住に取り組む前提として、どの年代を対象として重視するか、町外からの移住と現在住んでいる人の定住のどちらを重視するかなど、基本的な方針を立てる際には、年代による意向の違いを参考にすることが重要と思われます。

## 8 行政改革

**役場組織・職員に加えて、町有地や公共施設の見直しを求める声が高まっている**

町民アンケートで音更町の行政改革で重点をおくべき項目を尋ねると、「町民に分かりやすく、効率的な組織・機構づくり」が最も高く、「職員の意識改革、能力向上」、「町有地や公共施設の整理、合理化、有効活用」の順番となっています。上位2位は前回も高く同様の回答傾向ですが、「町有地や公共施設の整理、合理化、有効活用」は前回に比べて今回は高く、第3位に入りました。

また、町民アンケートで音更町の現行の制度や施設、事業の廃止など、なくしても良いと思うものについて尋ねたところ、コミュニティ施設やスポーツ施設などの見直しを求める声が意見の中で比較的多く、公共施設のあり方について見直すべきと考えている町民が増えていることが伺えます。